

# フィジカル メンセージ

向正義



成年  
コミック

**X** **COMICS**  
エックス

ファイジカル  
メッセージ



向正義



# CALL ME TONIGHT

〔前編〕



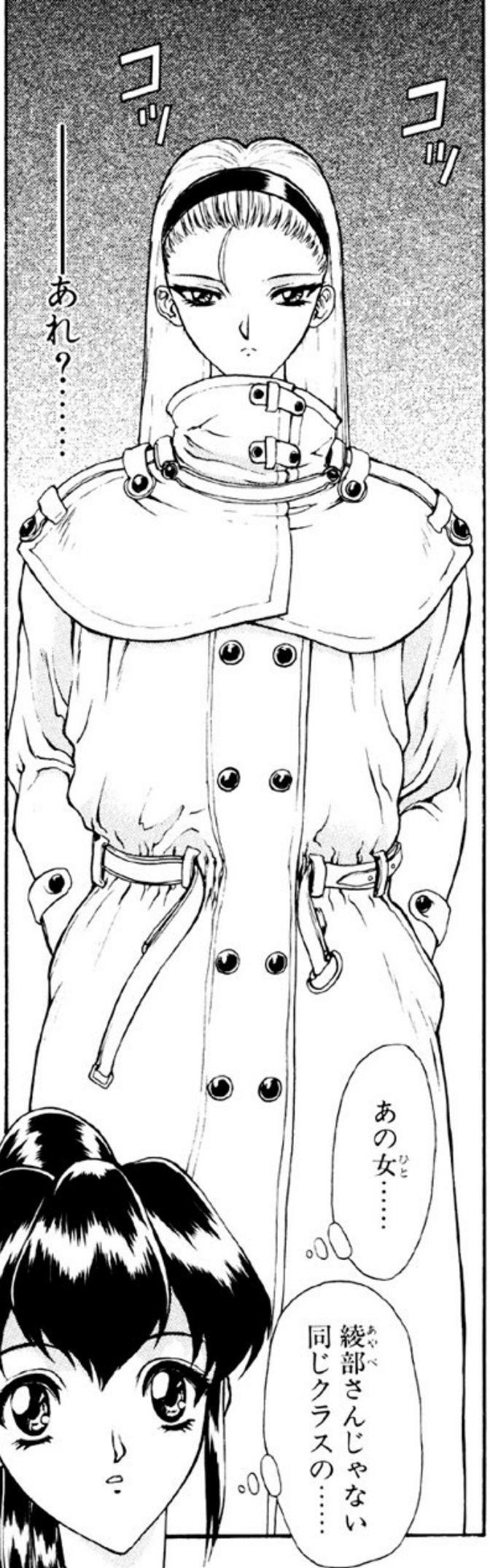
近道なんて  
しなきゃ  
よかつたな

いやなのよね…  
夜のこの公園

ホントに  
いかにもって  
感じのところだし  
……

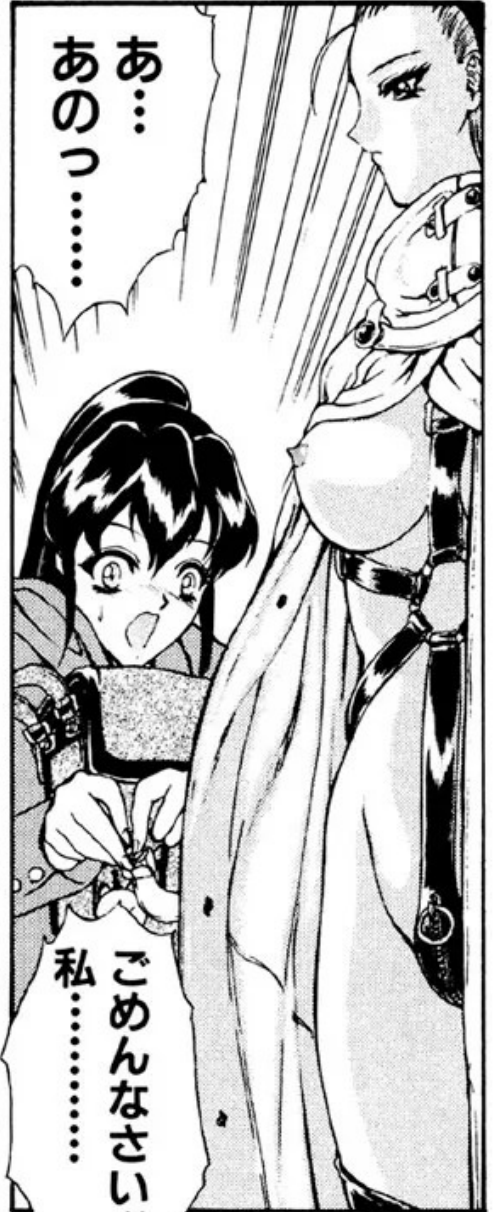
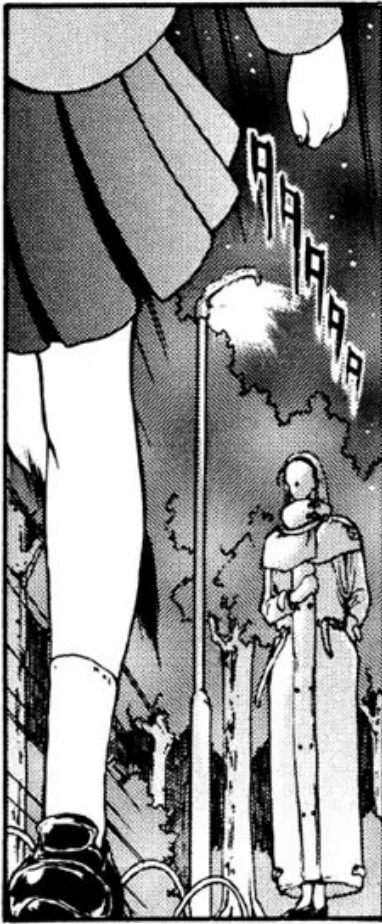
注意  
歩行はあなた  
ねらうていよう!!

!?





なっ……!!?



あ…  
あのっ……

ごめんなさい!!  
私……

けっしてわざと  
やったわけじゃ  
……

そ…  
その……

私……  
急いでるから  
……

さ…  
さよならっ!!!

あーあ……

昨夜はホント………  
ピッタリしちゃったな

よりによって  
同じクラスの女ひとが  
………

あんなこと  
してるなんて  
………



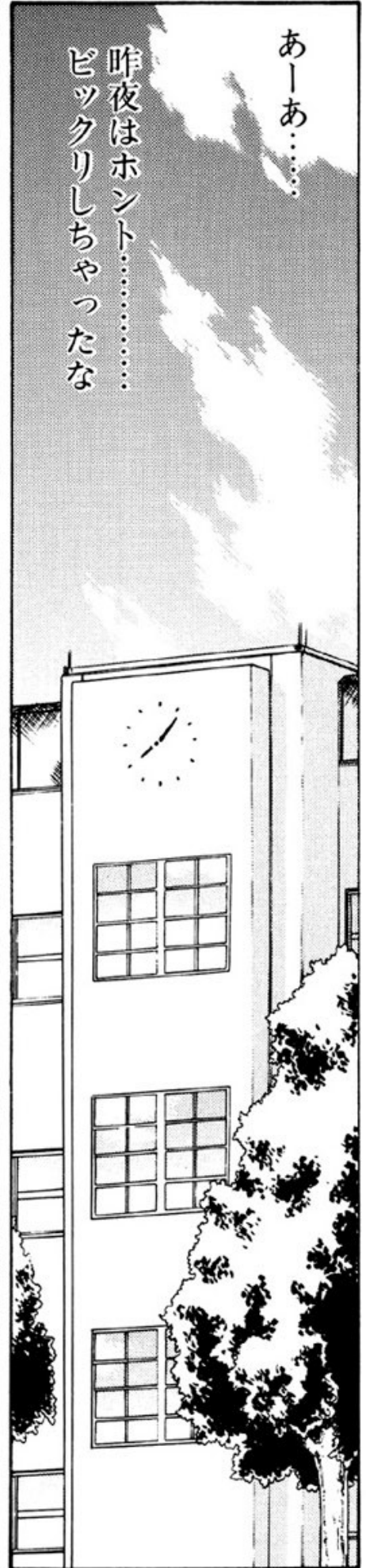
で……でも  
………

あれって本当に  
綾部さんだったのかな  
………

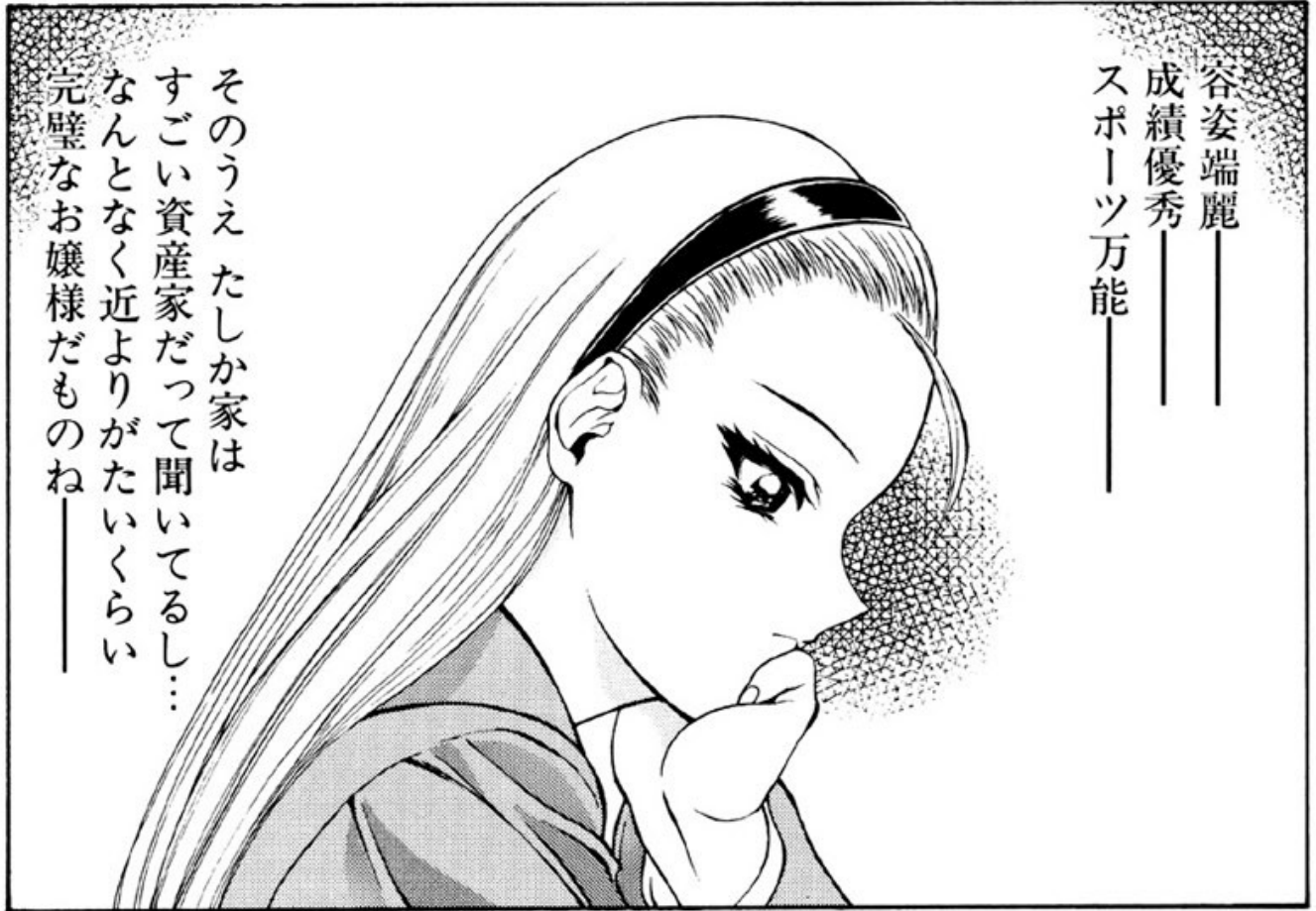


もしそうなら  
あんなに  
落ちついてられるわけ  
ないし………

それに  
信じられないよ  
あの  
綾部しのおさんが………

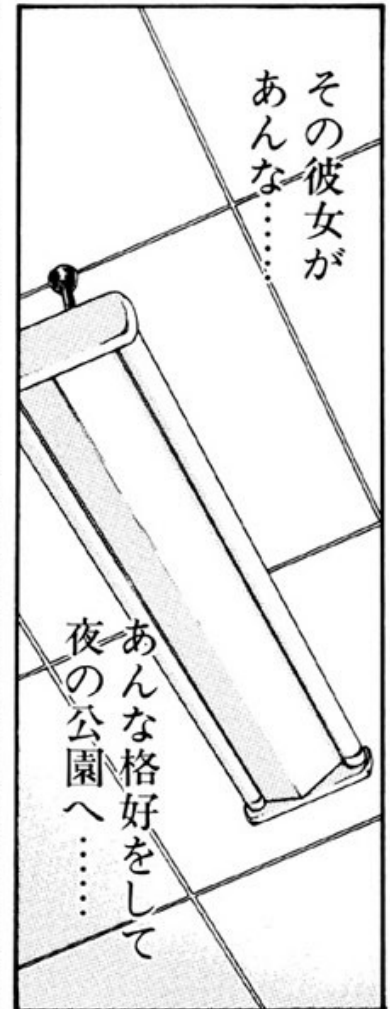


# CALL ME TONIGHT(前編)



容姿端麗  
成績優秀  
スポーツ万能

そのうえたしか家は  
すごい資産家だって聞いてるし…  
なんとなく近よりがたいくらい  
完璧なお嬢様だものね



その彼女が  
あんな……

あんな格好をして  
夜の公園へ……

コートを  
めくったら……

その下は  
もう

降



# CALL ME TONIGHT (前編)





じゃあ……  
じゃあ……

やっぱり  
昨日の女は

すみませんね  
わざわざ  
呼び出したりして



あ……あの  
綾部さん……  
昨夜公園で  
会ったのは……



ええもちろん  
私ですよ  
フフ……あの時は  
とんでもない姿を  
お目にかけて  
しまいましたね



おわかりでしょうけど  
こんなところまで  
きていただいたのは  
……

そのことについて  
あなたと二人きりで  
話があったから  
なんです



そりやそうよね  
もしあんなことが  
みんなにバレたら……

あの……  
それなら  
安心して下さい

# CALL ME TONIGHT (前編)



それになぜ  
あんなことを  
してたのかも  
詮索する気は  
ありませんから……

私……  
昨夜のこと  
誰にも  
言うつもりは  
ありません  
すぐ忘れようと思います

13



私はただ  
聞いてもらいたい  
だけなのよ  
あなたと別れたあと  
私が  
どうなったのかをね……

え……!?

フフフ……  
やさしいのね  
堀井さんて  
でも  
勘違いしないで





レイプ  
されたのよ

二人組の  
男にね……



な……

バ……バカバカ  
なんで聞いちやうのよ

何か  
あったんですか？

今詮索しないって  
言っただばかりじゃない

# CALL ME TONIGHT(前編)



一応抵抗は

してみただけけど……  
無駄な努力だったわね  
しよせん女の力ではね

「期待してやがったのかよ  
この変態女……なんてことも  
言われたの」

コートの下の  
私の姿を見た時は  
すごく喜んでね……  
あなたはびっくりして  
逃げちゃったけど……

だからかな  
いちいち聞いてくるのよ  
「何をしてほしいんだ？」  
「これはなんなんだ？」  
……なんてね 私はどうな  
恥辱的な問いにも  
答えさせられた……

そして  
犯されたわ  
何度も何度も  
……………  
三つの穴は  
もちろん…  
胸も  
手も  
足も  
身体中すべてを使われて  
男達の欲情の  
はけ口にされたのよ

あの時の私は  
もう人間とは  
言えなかった

そうね…  
言うなれば  
男の性欲を満たすためだけに  
生きている肉人形  
それがあの時の  
私だったわ……………



フッフフ……

どうしてあなたに  
こんなことを  
話したんだと思う  
……………？

わかつているの…!?

この女  
自分で何を言っ  
ているのか  
わかつているの…!?

あ……

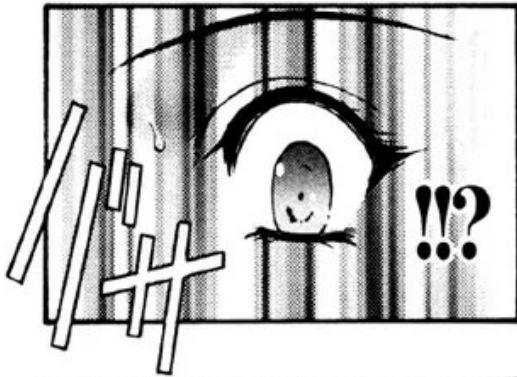
あ……

ああ……





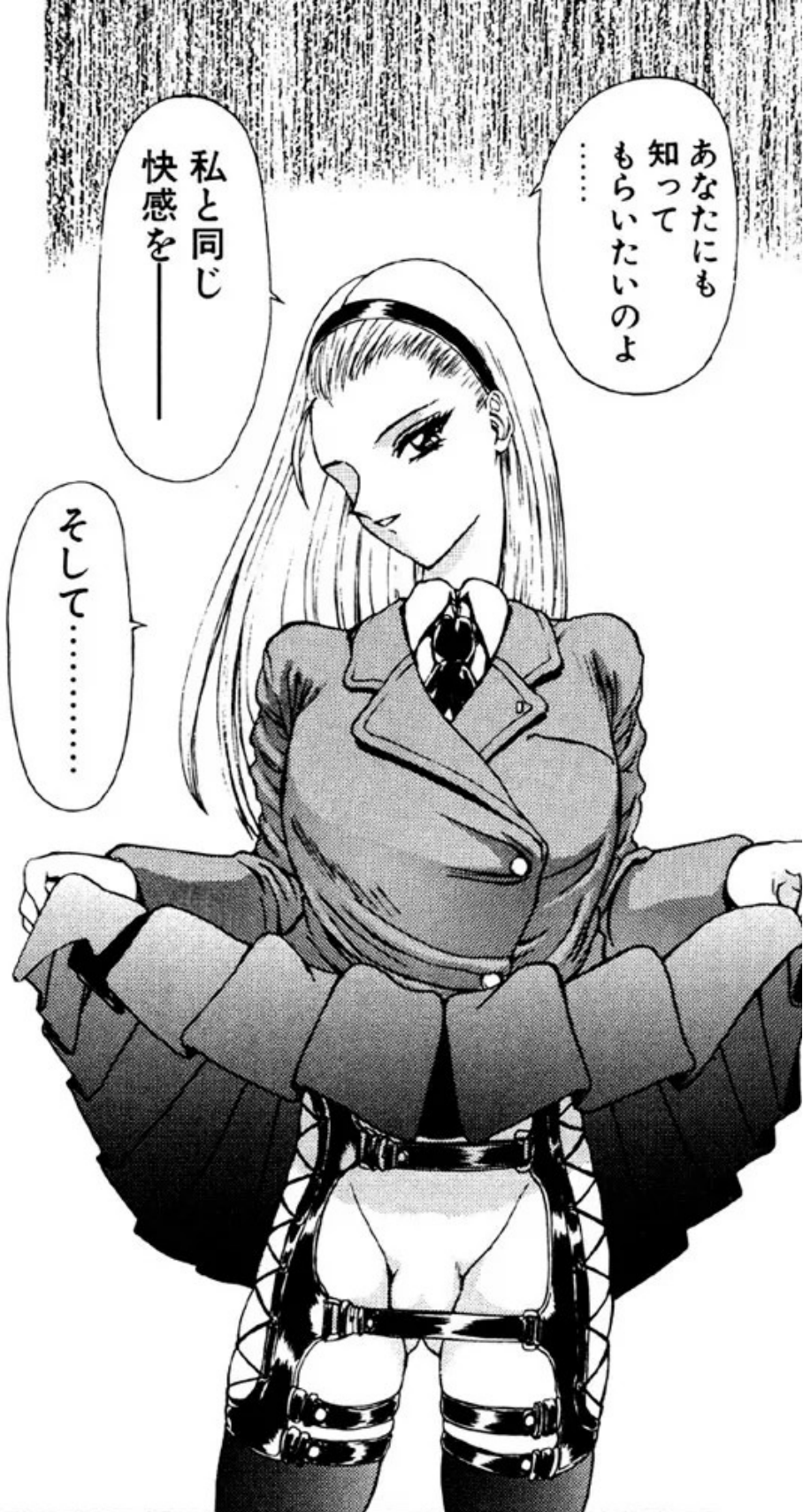
私の……中の……？



ほら  
その証拠に  
……

えっ……!!

こんなに  
なっちゃってる  
今の話と  
自分の身を重ねて  
考えてたのね



あなたにも  
知って  
もらいたいのよ  
……

私と同じ  
快感を——

そして……



あなたの中にある  
「女」を開放して  
あげたいの

私にはわかるのよ  
あなたは私と  
同じにおいにする  
って——



あ……

あなたは  
実感するの——

そして  
何度も何度も  
突き入れられるうちに……



はあっ……

自分が今……  
見ず知らずの男達に  
抱かれてるってことを



あ……あ

自分の身体が今……  
男達の性欲を  
満たすためだけの道具に  
されてるってことを——

はあ……あ

あ……



——っあ……

う……うそ……  
なんでこんな……

思ってたんでしょ？  
自分の  
この熱い秘壺に

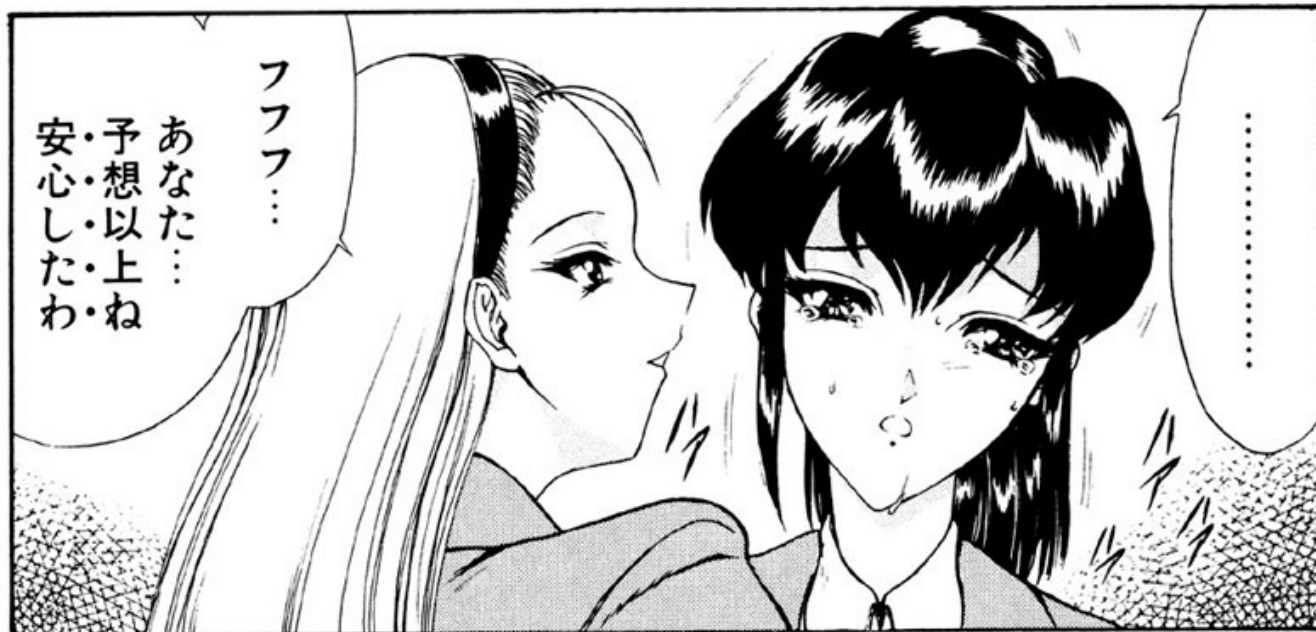
ち……違う!!  
違うよ!!

浮浪者達の  
小汚いペニス  
が  
突きたてられて……

私はそんな女じゃ——

ズブズブっと  
音をたてながら  
入りこんでくるのを  
……





フフフ…  
あなた…  
予想以上ね  
安心したわ



もつともつと  
教えて  
あげるわよ  
まだ知らない  
あなた自身をね  
……………



今夜…  
私の家へ  
いらっしやい



さ…返事は  
どうしたの？

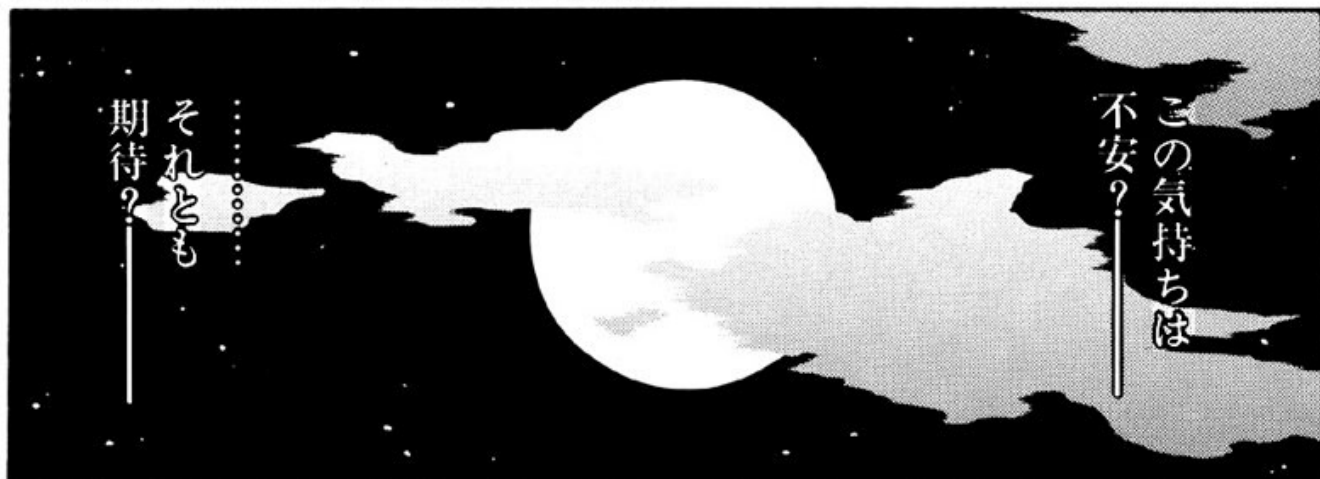
は……

はい……

今の私には……

抗<sup>あらが</sup>う術<sup>すべ</sup>も…  
そうする理由も  
ありませんでした……

# CALL ME TONIGHT (後編)

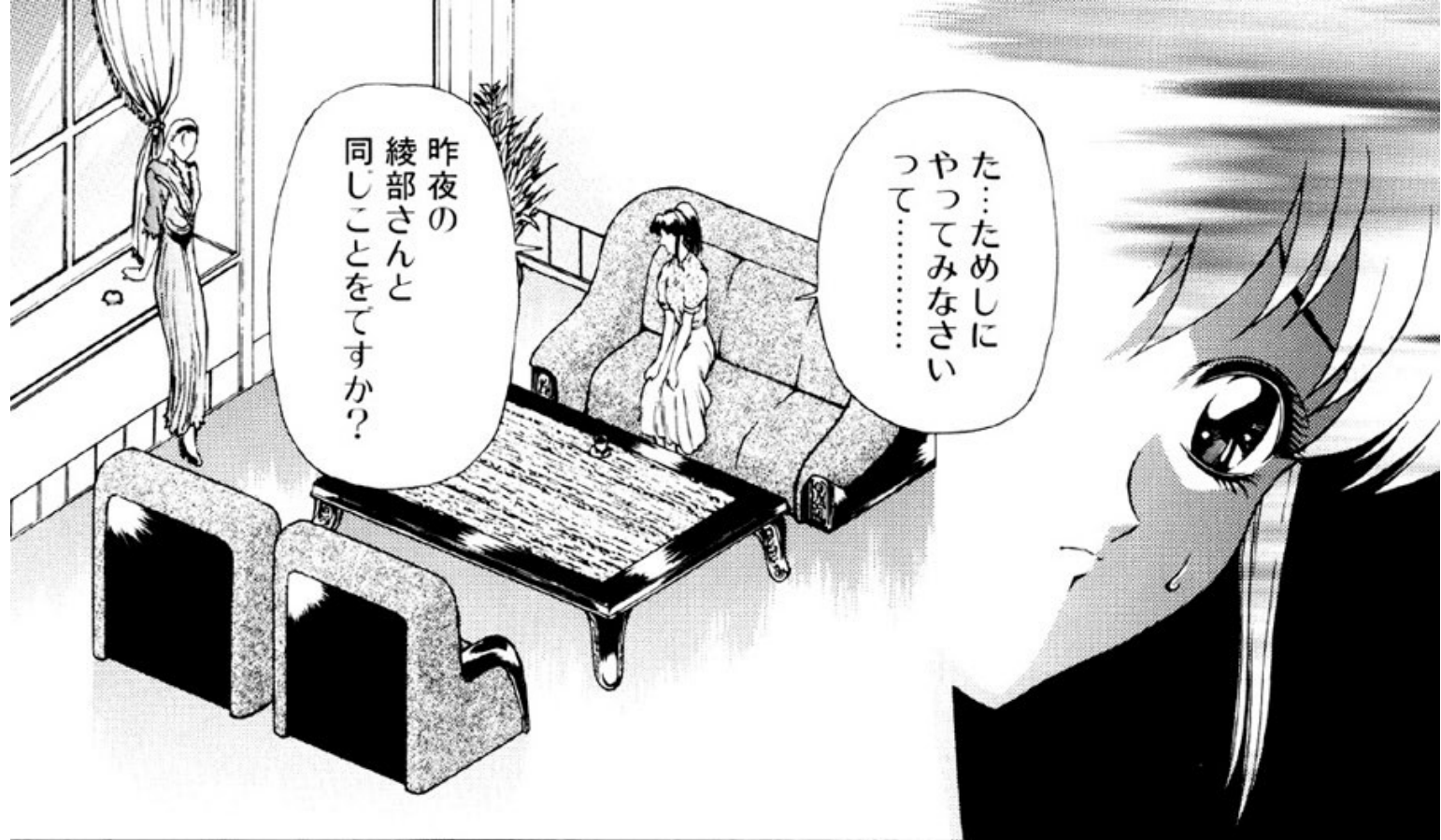


# CALL ME TONIGHT

〔後編〕

今夜……

私の中で……  
確実に何かが変わるであろうことだけ



今夜は  
うちの使用人が  
お相手するわ

ザン

気が向いたら  
そのまま  
抱かれればいいし  
……

もしどうしても  
イヤだったなら  
私をお呼びなさい

すぐ近くで  
拝見してるはず  
ですからね

は……あ……

だからこれは  
あくまでも  
フェイク  
お遊び  
なんだから……

気楽に  
考えなさいな



27



さて…と  
そろそろ  
くる頃ね



あいつら  
うまくやれば  
いいけど……



フフフ…本当に  
ひさしぶりね  
こういうの……

楽しみだわ  
堀井さんが  
どんな反応をするか……



# CALL ME TONIGHT (後編)



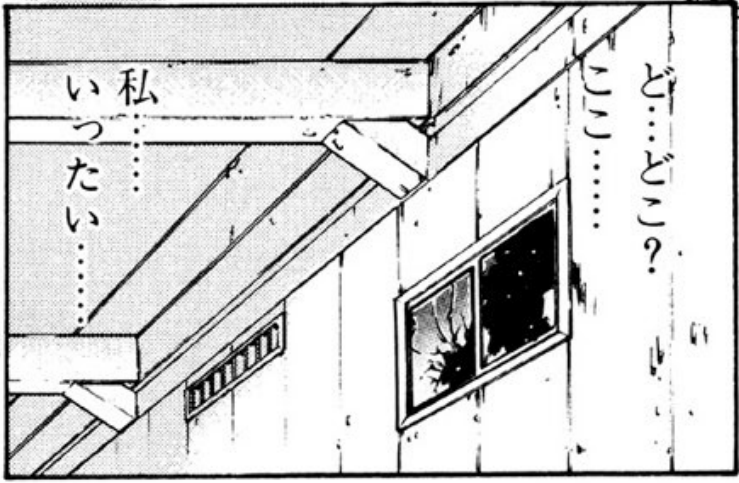




えっ...  
あっ...

ん...

な...何よ  
これ!?



私...  
いたい...

ん...  
ん...



へへへ…  
ほれ

んん…

んんん~~~~

奥の奥まで  
しっかり写してやんな

カ  
カ  
カ



ん…んんっ!!

んっんんっ——っ!!

んん…

ん…

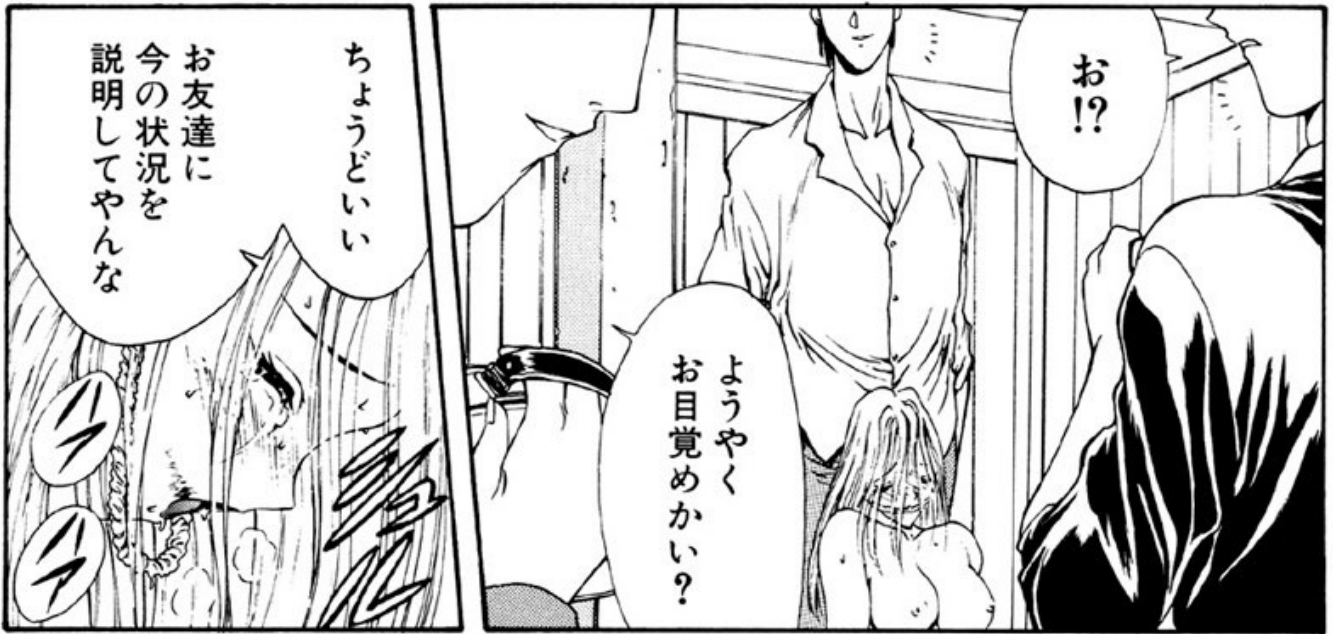
んん…んん…



あ…  
綾部さん!?

これ…いったい  
どういうこと  
なんですか!?

# CALL ME TONIGHT(後編)





へへへ…  
聞かせてもらったぜ  
おまえらの遊びのこともな



協力して  
やろうじゃねえか  
俺達が  
たっぷりとな



あははははは



本物の

!!?

そ…  
そんな…

じゃあ  
この人達





まったく  
かわいそうになあ

遊びのつもりが  
こんなことにな  
なっちまってよ



もつとも  
これからは  
そんなことする  
必要もねえぜ



へへ：  
わかってるよな  
自分達の  
今の立場は



そ...そうよ  
もう私達は  
.....



い...  
いやあ...

やめて...  
お願い...やめてえ...

な...名前や住所も  
知られちゃって...

そのうえ  
写真やビデオにまで  
.....

これからは  
俺達がやりたく  
なったら……

すぐ  
くるんだぜ  
どんな時でもな

もう  
普通の生活なんて  
できると思うなよ

今日からおまえらは  
俺達に  
抱かれるためだけに  
生きるんだ

つまりな……

おまえらの身体は  
もう自分のモノじゃあ  
ないってことなんだよ



私…本当は怖かったのよ…

あなたが昨夜のことみんなに言いふらすんじゃないかって…

だ…だから…あなたにも同じ弱みを持たせようと思って…



ほ…堀井さん…

本当に…ごめんなさいこんなことになってしまつて…



い…いいの…



!!?

ああ…

あ…

あつ

# CALL ME TONIGHT (後編)



いいのよ  
綾部さん……

だって……  
初めてだもの  
こんな気持ち

今はっきり  
わかったわ  
……

あなたの  
言ったとおり……  
私はもともと  
こういう女  
だったのよ……



そう……

堀井……  
……さん

綾部さんも  
思ってるん  
でしょ？……  
心の中では  
もう……

今の私が……



そ……  
そうなの……

私……  
もう  
どうなっても  
いいって……

本当の……  
自分を――

今の気持ちが  
本当の……



随ちましょ  
……  
いっしょに

あ……あ  
美咲い……

しの……ぶ……



出してっ!!

あっ…あ  
入ってくるう…  
ドクドクって…  
感じるう

汚すのよ

私を

汚しつくすのよ!!

んあっ……

はあああ——っ!!

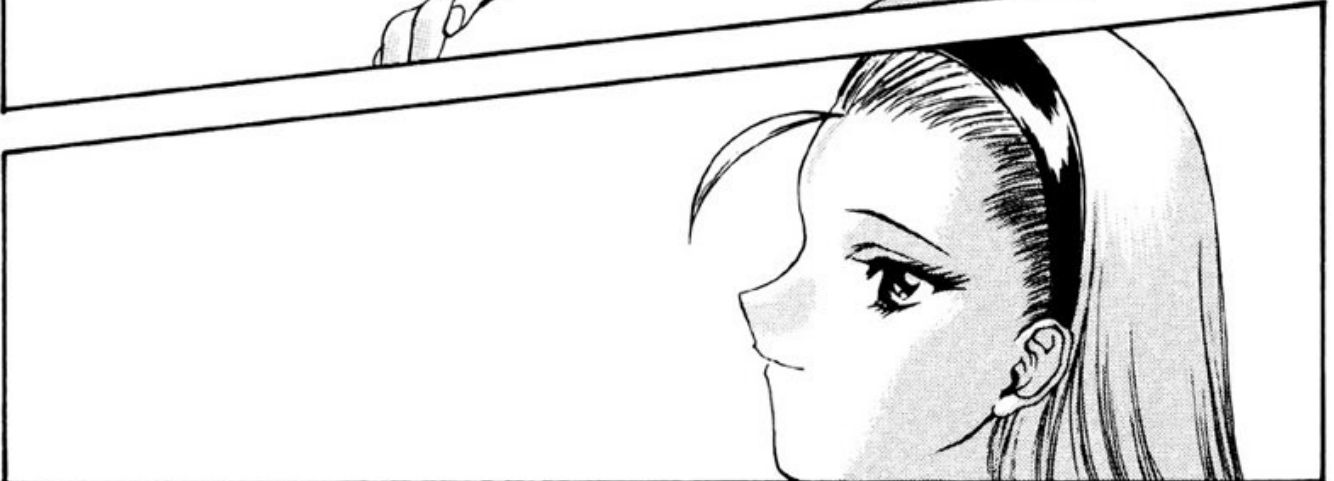
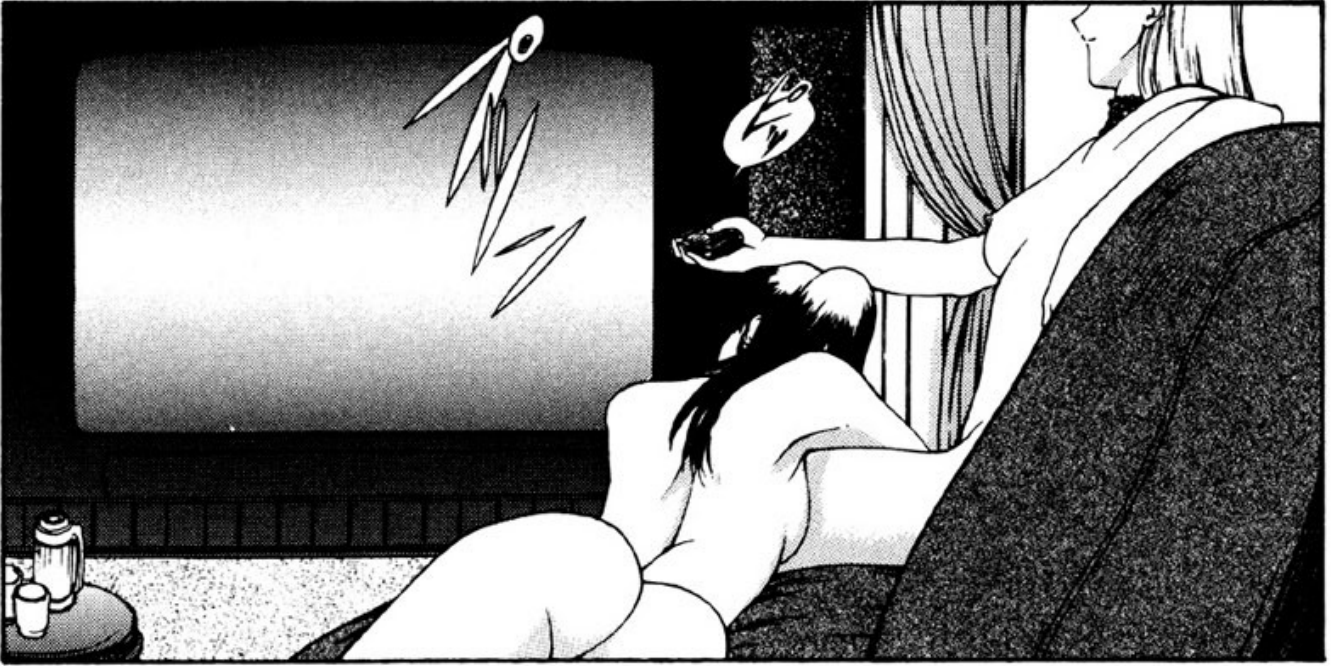
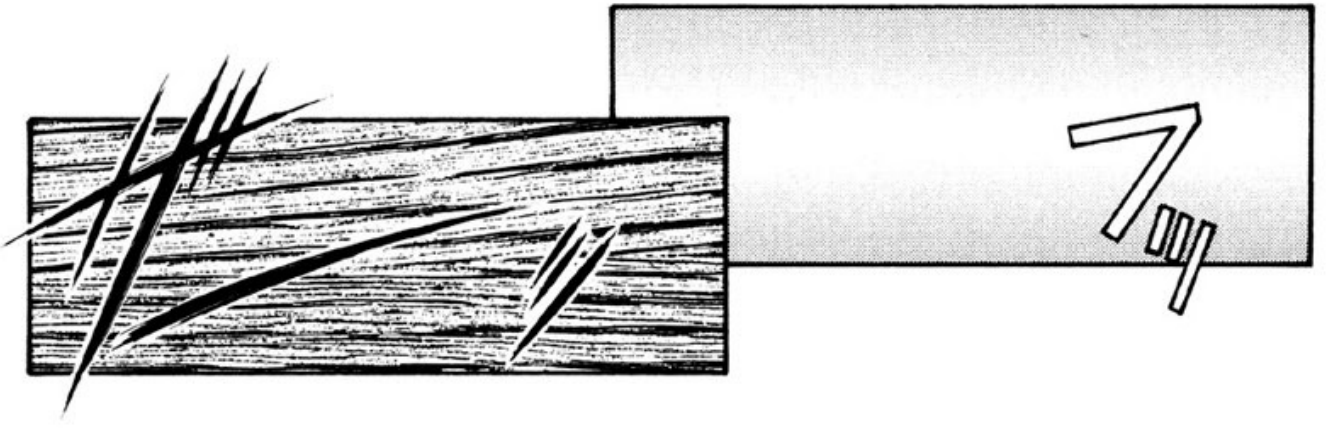
あ……

あふ……う

あ……あ

ふあ……あ……





# CALL ME TONIGHT(後編)



ほんとにね……

美咲ってば  
震えちゃってて……  
とっても  
かわいかったわ



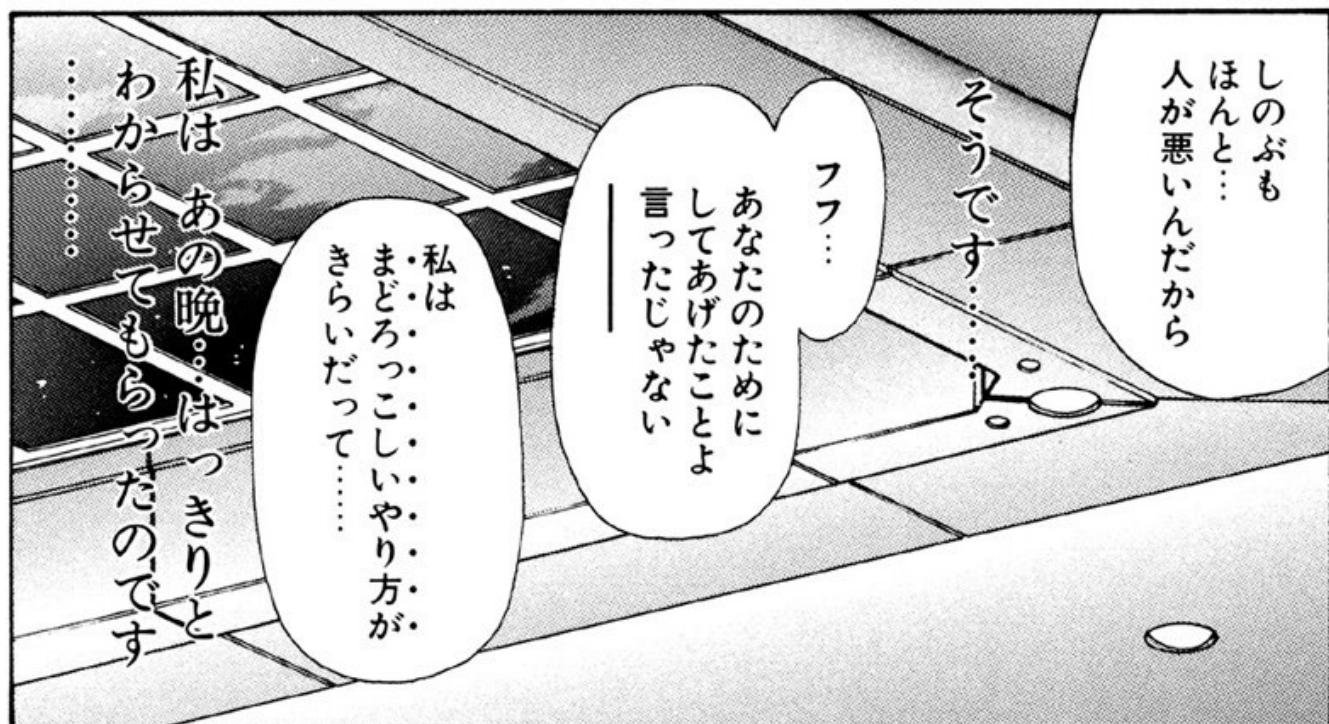
フフフ……

懐かしいな  
そういえば  
こんなことも  
あったよね



だって……

あの時私……  
本気でどうなるかと  
思ってたのよ



しのぶも  
ほんと……  
人が悪いんだから

そうです……

フフ……

あなたのために  
してあげたことよ  
言っただじゃない

私は  
まどろっこしいやり方が  
きらいだって……

私はあの晩……はっきりと  
わからせてもらったのです  
……

もしも  
すべての女性が  
こんな気持ち……  
こんな願望を持っていたとしても……

そんなことより……

今夜はどんな  
シチュエーションが  
お望みかしら……？

ほとんどの女は  
それを表に出すことを  
恥と考えるでしょう……  
しかし……

そうね……  
ゆっくり考えましょ

夜はまだ……  
始まったばかり  
なんだから

私達のよつぱら……ぞねでしか  
自分の「女」を表現できない者もいる

ざいらい……



よいか  
ミーン

今宵はいよいよ  
おまえが  
死神として  
初めての仕事を  
する日……



これを見事  
果たせば  
おまえもようやく  
一人前の死神として  
認められること  
だろう

父の教えを  
忘れぬようくれぐれも  
気をつけて……



行ってこい!!

我が娘よ!!

はい

パパ……いえ先生  
それじゃ——





うん！うん！うん！

ふい

みつどないと  
ボケ〜しよん









う……うわっ!!!



ちよ…  
ちよ…  
ちよ…!!!



魂 貴方の

ミルミーンが  
おんごんちがわ  
う!!!



おいでませー

っ!!!



やったあ

あとは  
このまま魂を  
抜き取れば……



え!?



魂



きゃん!!

ドク...





第一  
なんなんだ  
この娘は

いた〜い

壁から出てきたり  
死神だとか  
魂をもらうとか……



な…なんだよ  
このカマ

刺さってる感じは  
たしかにあるのに  
痛くもかゆくもない  
……



説明しろ…!!

なんなんだ  
おまえは…  
俺の魂を持っていくって  
どういうことなんだ…!!

!!!



なんで…!!?

どうして魂が  
抜け出してくれないのよ  
っ!?

お…おい  
おまえ







なんでこんなこと  
するの...? やめて  
ホントに苦しいの...

な.....



か...は

これでもう  
まったく  
動けないだろ

は...

ふあ...

は...

あ...



そ...そんなこと  
できるわけ.....

なっ.....

何れも何れも!!!



死神だかんだか  
知らないがどうして  
俺が死ななきゃ  
ならないんだ

魂を持っていかない  
っていうなら  
やめてやるよ



やっ...やっ...  
やだっ!!

やだあ——っ!!!

なんだ人間と全然変わらないじゃないか

しかもまったくの手つかずだ

やめてえ!!!

ど...  
どうなってるのよ  
いったい...  
この人なんで  
こんなにピンピン  
してるの?  
これじゃあ  
魂が肉体から  
離れるわけないわ

た...助けて  
パパ



パパア——ッ!!





はは  
こりやいや  
ホントに人間と  
違うところなんて  
ないじゃないか

お願いでえ  
見ないでえ  
……

み……  
見ないで  
……



ミーン……だっけ？  
すごいね 君

ちよつといじつただけで  
どんどん溢れ出てくる……  
これって  
君達 死神の特徴なの？



あ……あ……あ……



や……やめて



いやっ!!

いやあっ!!



君だけに  
限ってのこと  
なのかな？

それとも……

トロ..

んん



いただくよ

それじゃ  
そろそろ……



こんなこと……  
自分でもしたこと  
なかったのに……



痛いよお

パパア

ツ!!!

ふあああ  
痛いっ!!

ああ

っ!!!



こ…こんなのって  
ないよお!!  
魂奪いにかけて  
逆に……



パ…パア

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

逆になんて……  
貞操奪われちゃう  
なんて……





みっどないとボケしよん／おわり

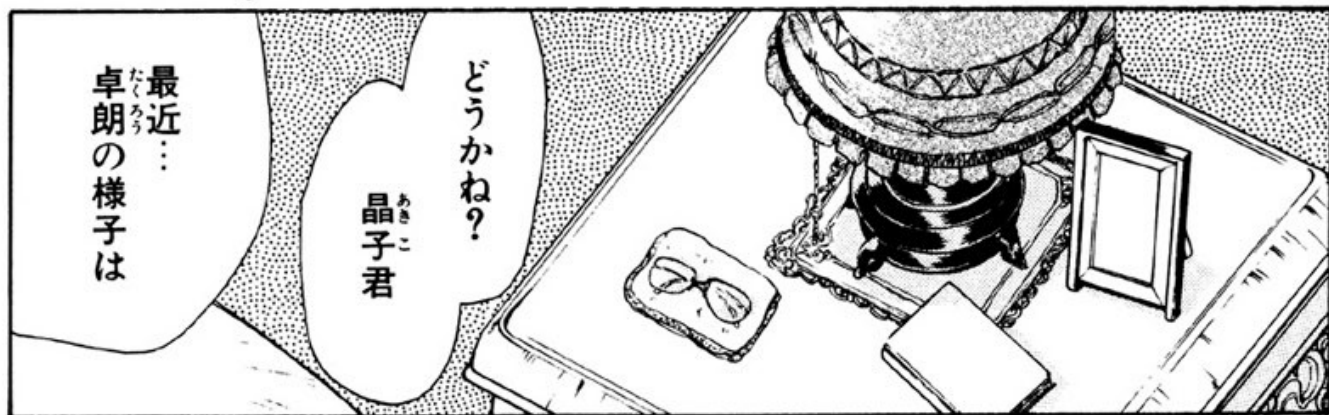


*Dear my teacher*





# Dear my teacher



最近…  
卓郎の様子は

どうかね？

晶子君



おぼっちゃん  
ですか？

ええ

成績の方は  
申し分ありません

もう一学年上の  
問題集も解いて  
しまいますし



素直で  
手間もかからない  
……………

理想的な  
生徒ですよ

家庭教師として  
この家に  
住み込みを始めてから  
約一カ月後

いつからか…私は  
昼と夜 同じ家で  
二つのバイトを  
するようになっていた

それが……

先生

はい

できました

卓朗君

まさか  
あのようなことに  
なろうとは  
この時  
夢にも思っ  
ては  
いなかった  
のだが  
……

何度言っ  
たら  
わかるの  
かしら  
……  
!?



よく見直し  
してない証拠よ  
考え方は  
あってるのに  
単純な計算ミスで  
結局  
間違えちゃってる



見直しは最低  
二回しなさいって  
言ってるでしょ!!



あ  
間違っていましたか?

見て  
ごらんなさい  
ここ……



え……

あ……はい

もう一回  
やり直し!!

.....

いっつも  
思うけど.....

本当に  
冷めた子ね  
この歳にしては



可愛気がないって  
言った方がいいのか.....

ま...  
素直に言うこと  
きいてくれるのは  
助かるんだけど

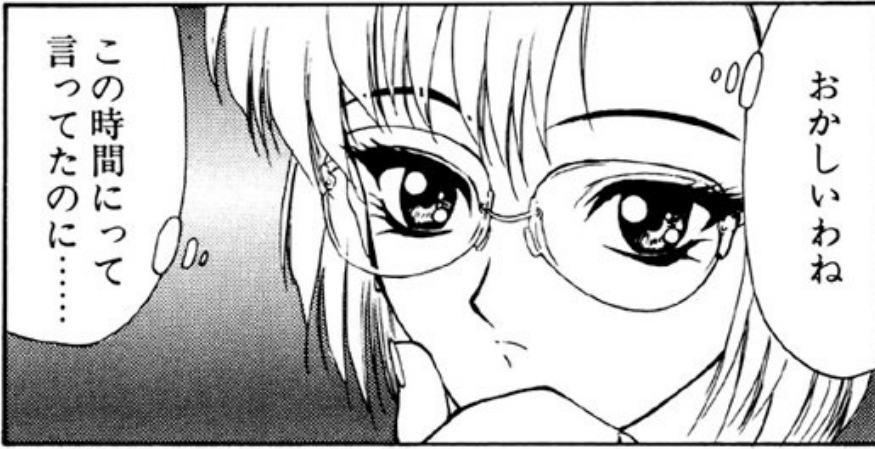
卓朗君

ひとやすみ  
しましょう

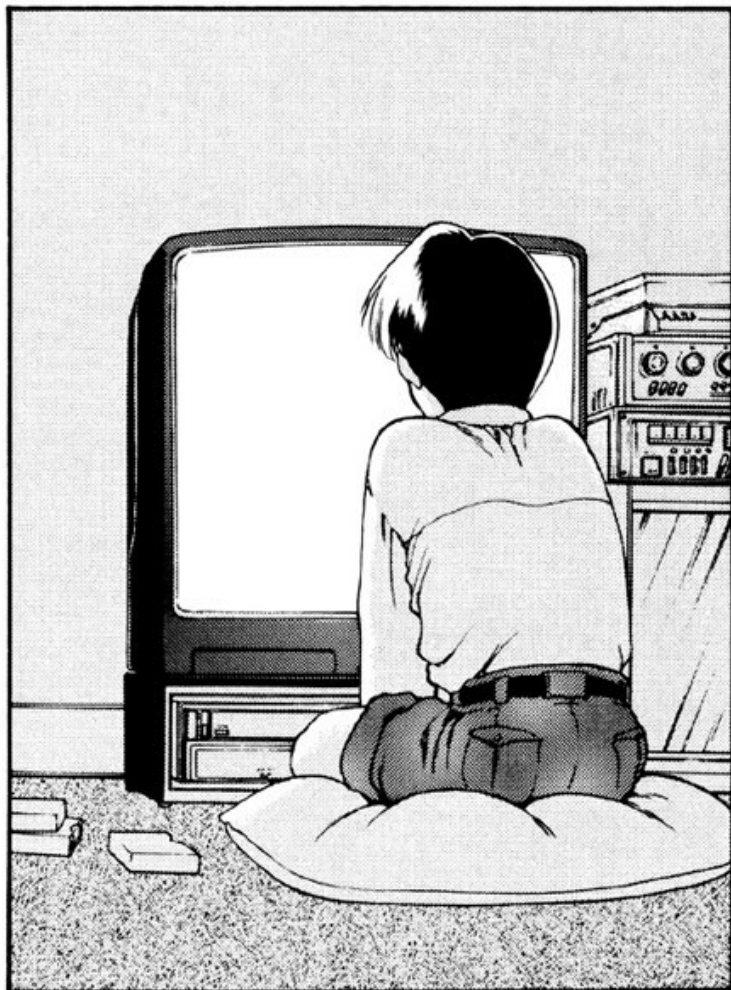
はい...

# Dear my teacher





# Dear my teacher





わ…私!!?

は…

あつ…

何よこれ!!?

あはあ…

ああ…

あ…



よく撮れてるでしょ

どう?  
先生

ぼくがね…  
仕掛けて  
撮ったんだよ



い…いい…

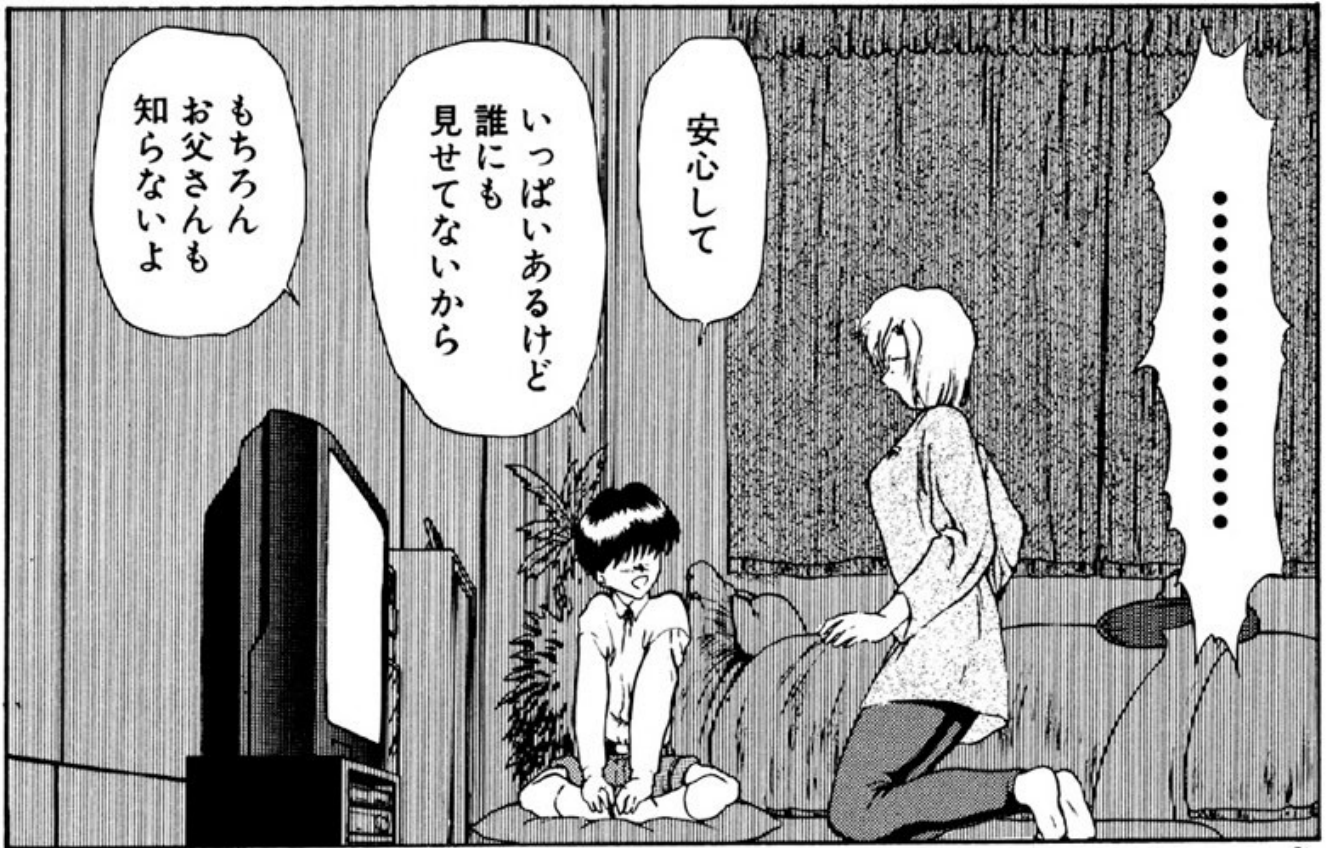
もっと…  
深く…



!!?

ま…  
まさかこれって…

# Dear my teacher





どうなるか……  
わかるよね!?

これ……  
お母さん  
見せたらさ



いいのかなあ  
先生……

ぼくに  
そんな口きいて



そんなに  
怖がらなくて  
いいよ……

別に



た……  
卓朗君……

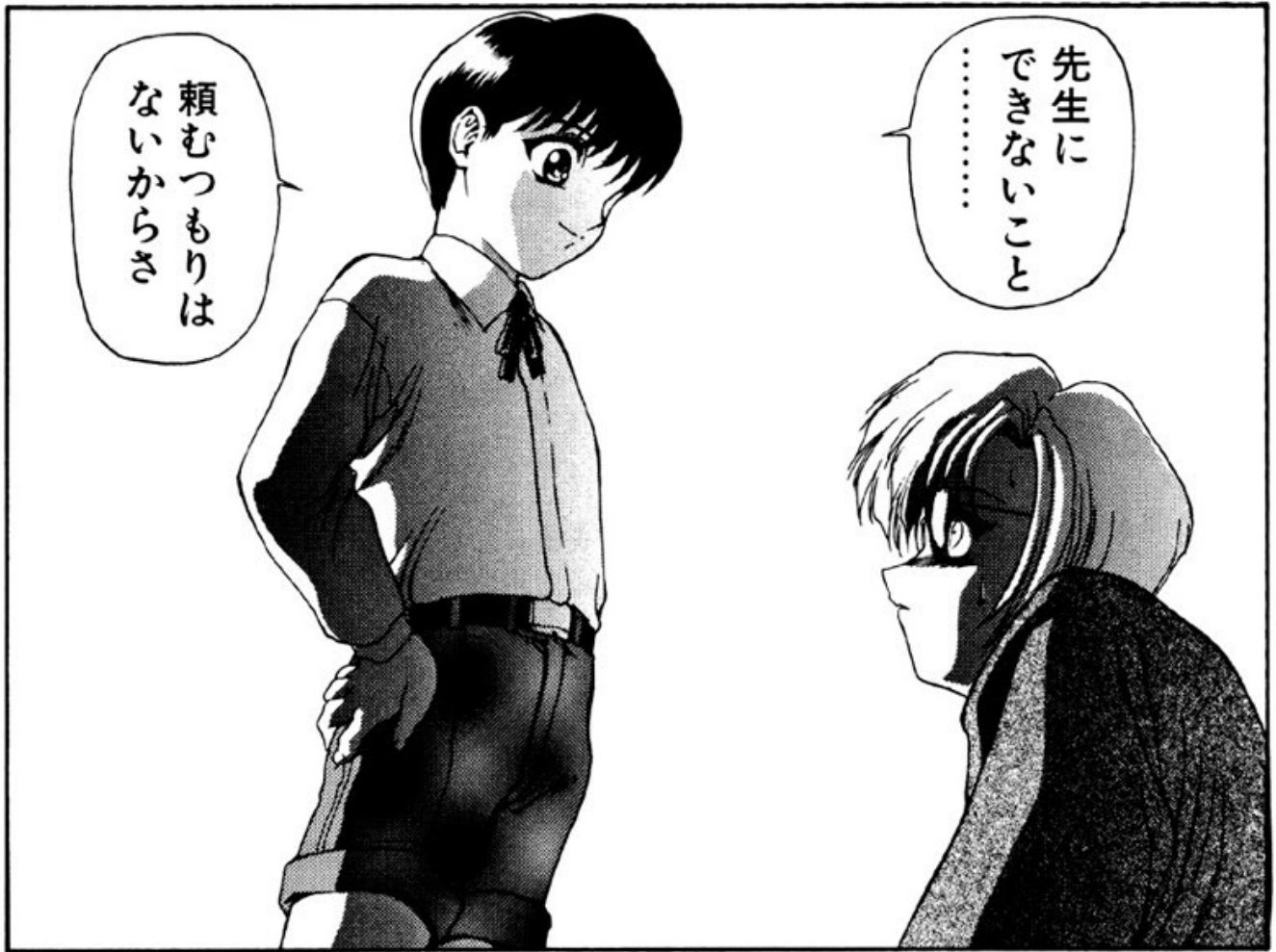
私を……  
脅迫しているの!?

あなた……



この子……

# Dear my teacher



やっ……

あっ……

ああっ……

わ……私今……

本当に  
犯されてる!?

教え子に……  
強姦されちゃってる!!

ああ……あ

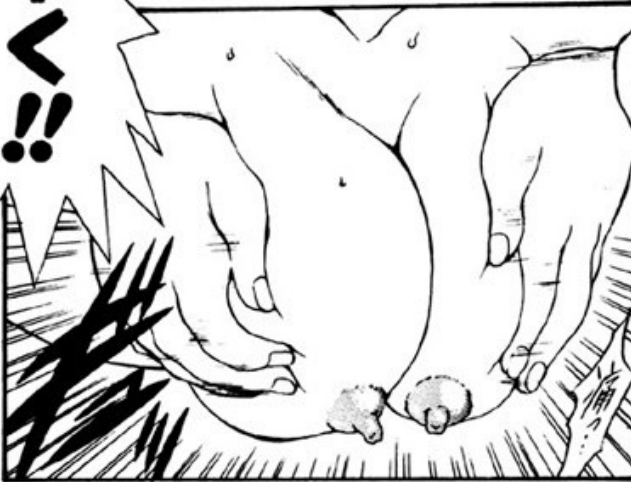
夢にまで  
見たんだよ

先生を  
こうやって……  
犯すのをね!!

# Dear my teacher



**早く!!**





よく  
言えたね…  
先生

私



ごほうびに……

たっぷり  
流しこんであげるよ  
生で出されたことなんて  
一度もないんですよ？



あっ……

あうっ……

ああっ……

私は今……

卓朗君の



!?

や…  
やめて!!

お願い  
やめてっ!!

外に…  
外にっ…!!

オモチャ  
性奴にされちゃっ  
つてゐるんだ!!!

あひ.....

あひいいい!!!

あひいい!!!



それから  
さらに一カ月が  
過ぎたが……

卓朗君!!

また同じような  
間違いしてるわよ  
!!

私はいまだに  
この家で  
家庭教師を  
続けている

それを  
可能にしたのは  
ひとえに……

先生……  
今日は  
いつも増して  
きびしいね

あ……そっか  
今日から  
またお父さん  
いなくなるものね

それじゃあさ

今夜……  
楽しみに  
待っててよ

た——っぷり

お返し  
してあげる  
からね

……

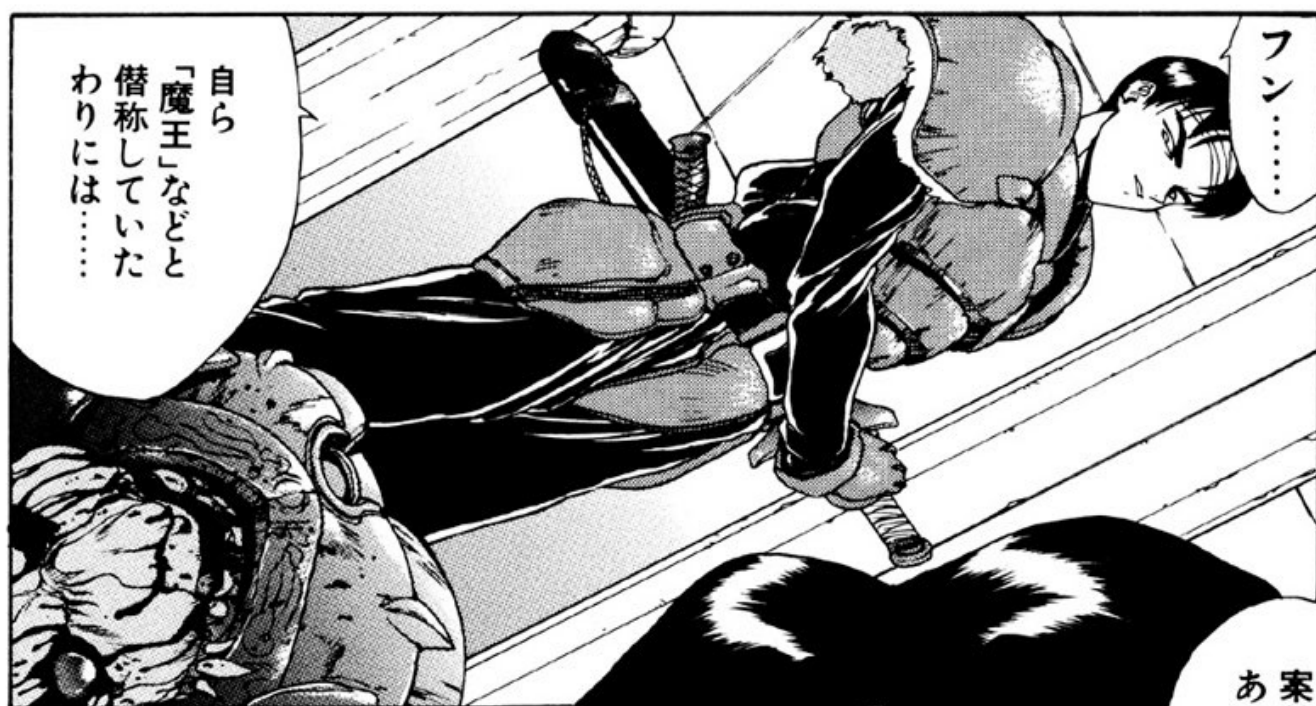
私とこの子の利害が  
一致したから……  
という理由のうえに  
他ならないのです

# SATAN DOLL



79





案外  
あっけないものだ

# SATAN DOLL

ま...この俺が  
強すぎたということも  
あるだろうがな

# SATAN DOLL

まあいい……

なににせよ  
これで俺は  
この国を救った  
英雄……

地位……

金……

そして女も  
好きなだけ……



!?

誰だっ!?



お…お父様

女!?

よくも私の  
お父様を…!!

何…?

お父様だあ……?

# SATAN DOLL





84



お…おろせ

や…やめ

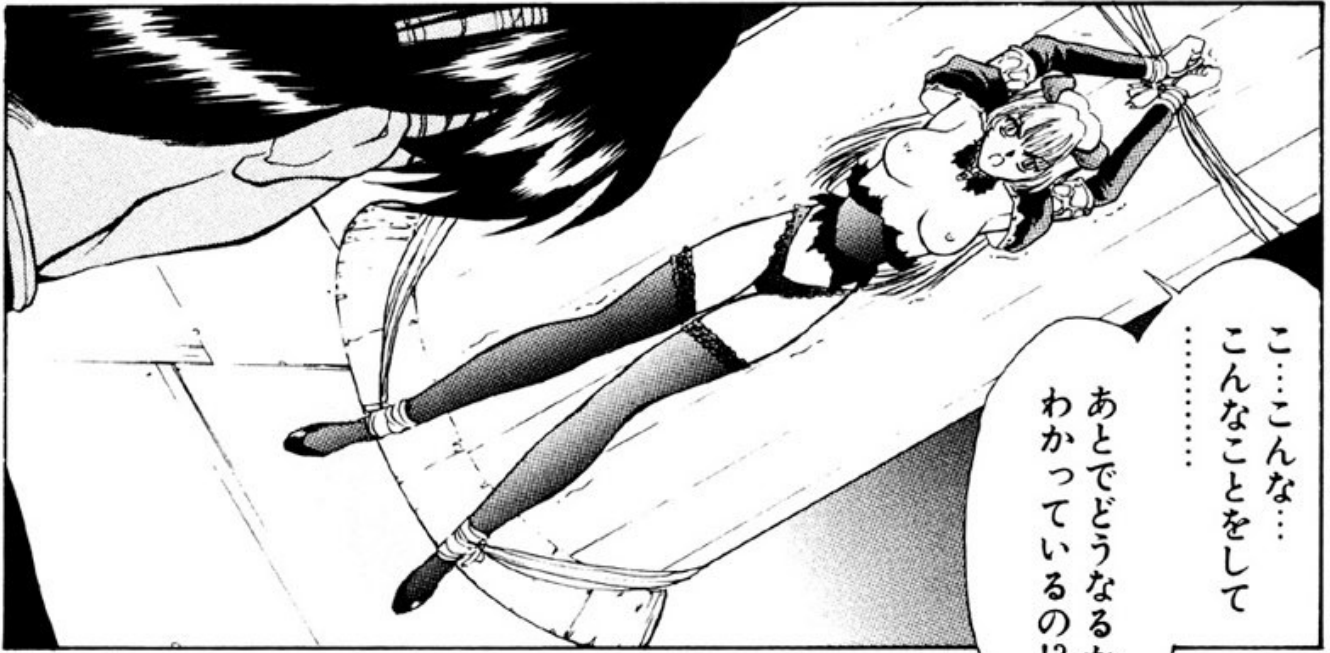
やめてえ

み…  
見ないでっ!!  
見ないでえ!!

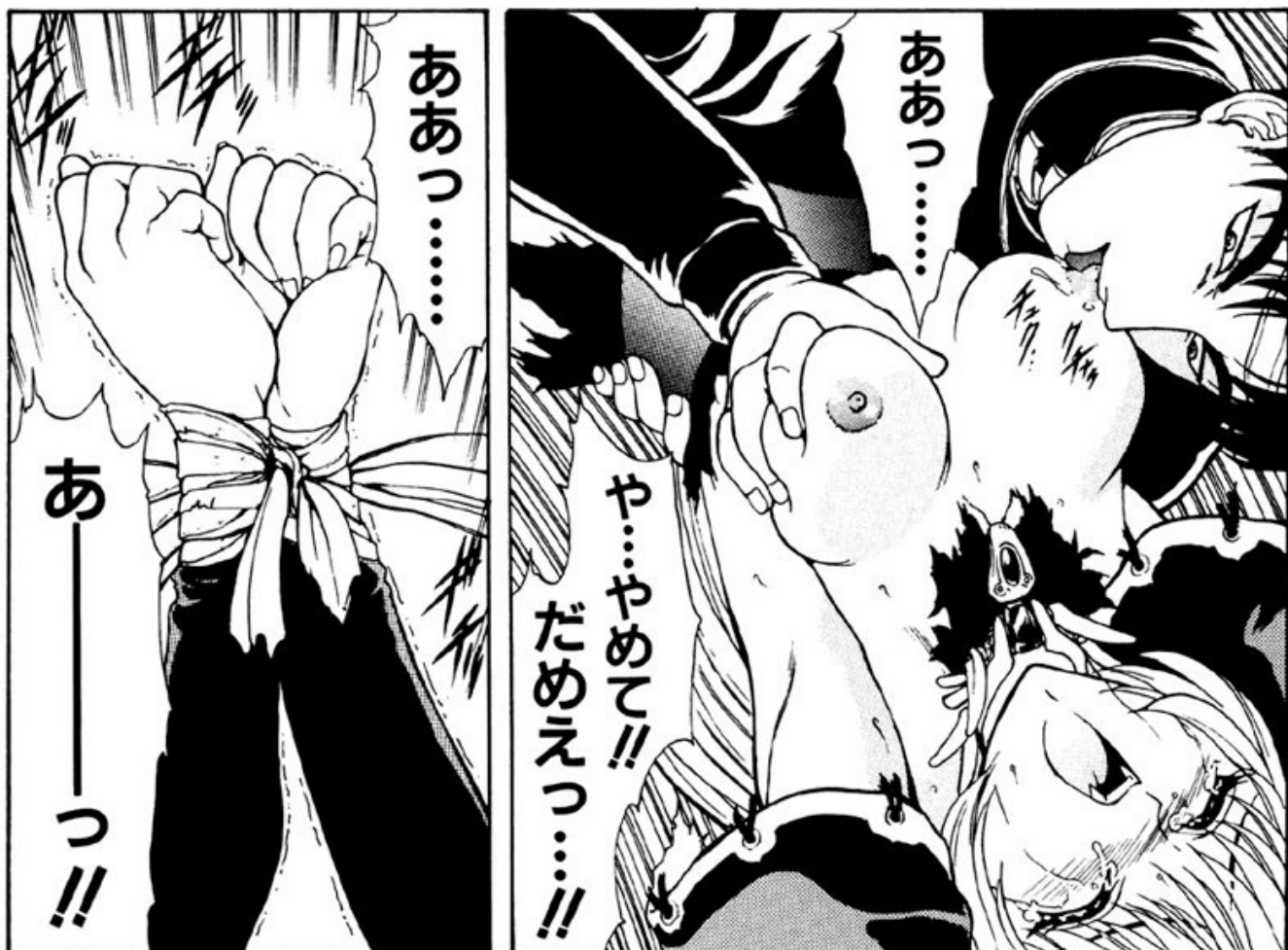
い…いぢあ

っ!!





# SATAN DOLL





あ...うさ

あ...うさ

あ...うさ

あ...うさ

あ...うさ

あ...うさ



どうした...?  
さっきまでの勢いは



もう  
逆らう気力も  
果てたか

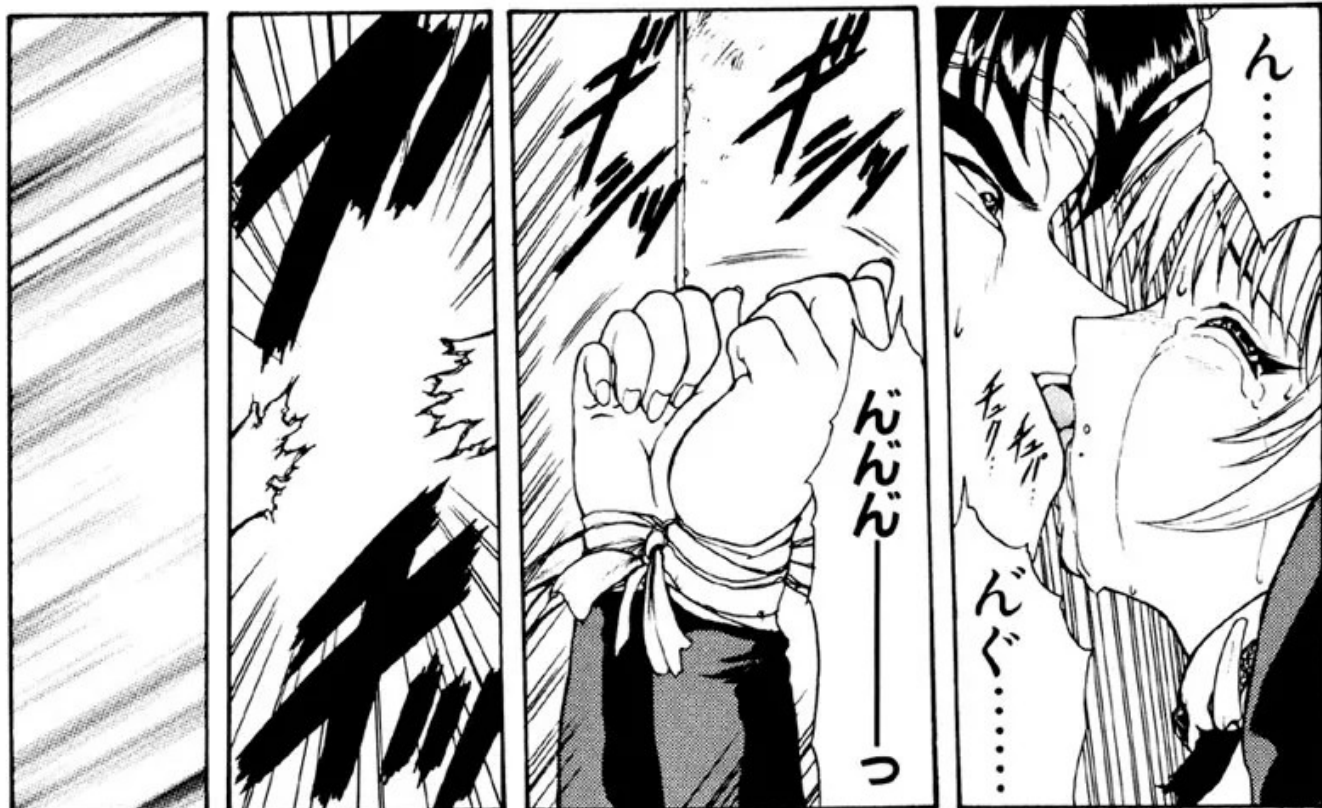
罵声ひとつ  
出てこんよう  
ではな



別の声を  
あげさせてやるか

クク...それじゃ  
罵声ではなく  
.....







あじ……



はん……

あ……ああん

はあん



こいつはその祝いだ  
!! 出すぜつ!!  
たっぷりと  
飲みな!!!

!?



ああ……あ

へへへ……最初は  
すぐフツ殺して  
やるうかと思って  
いたが……

気が変わったぜ!!

安心しな  
生かしてやるよ  
この俺の  
性奴としてなあ





おまえは…  
俺のモノだ

俺だけの  
モノだ……!!

英雄だの…  
国を救うだの……



もう…  
そんなことは  
どうでもいい

俺はこの女を  
抱いていれさえ  
すればいい……!!



俺は……

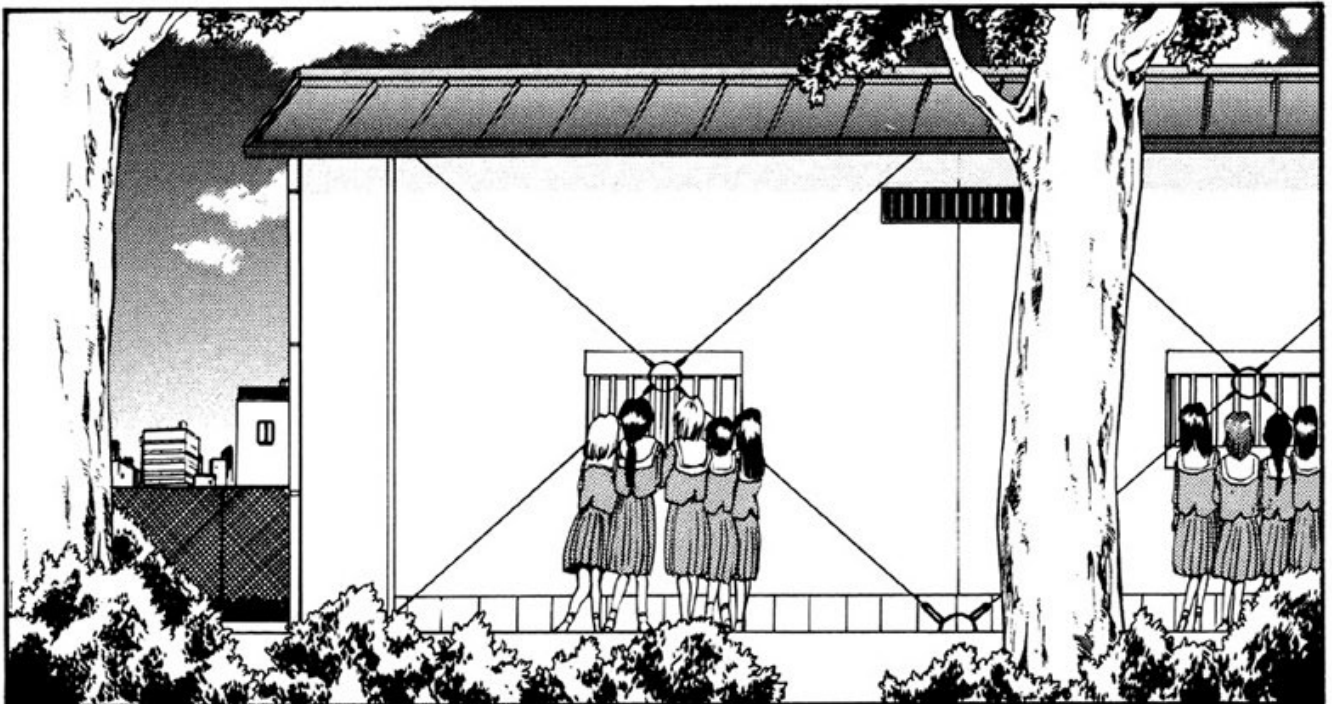


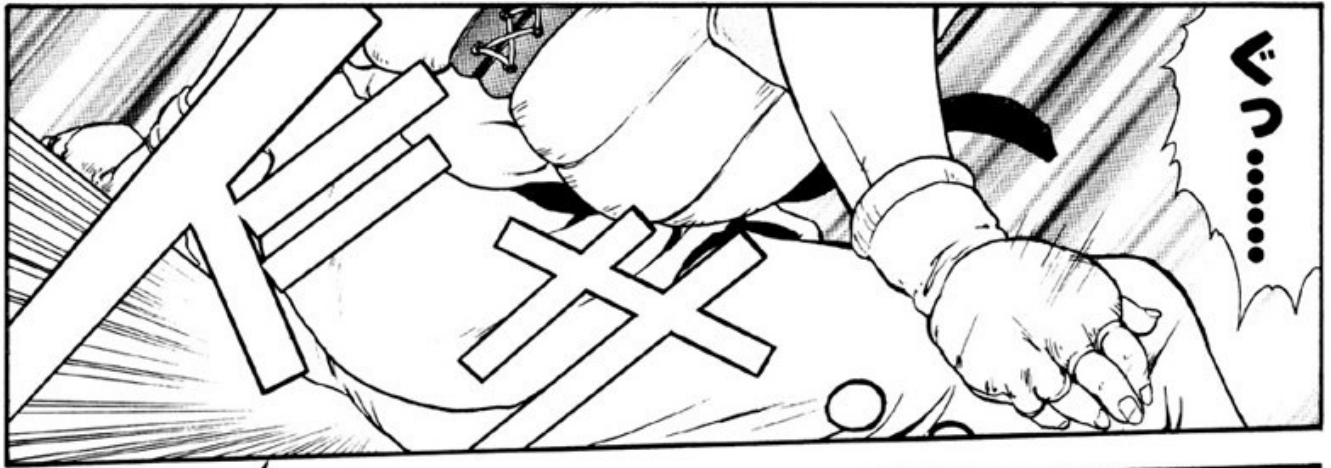
俺はこの女のためだけに……

生きていれ  
ばいいんだ!!



# 瞳 そらさないで…





へん……



綾<sup>あや</sup>  
先バア—イ

鳴沢<sup>なるさわ</sup>  
サーン

すてき—っ

瞳 そらさないで…

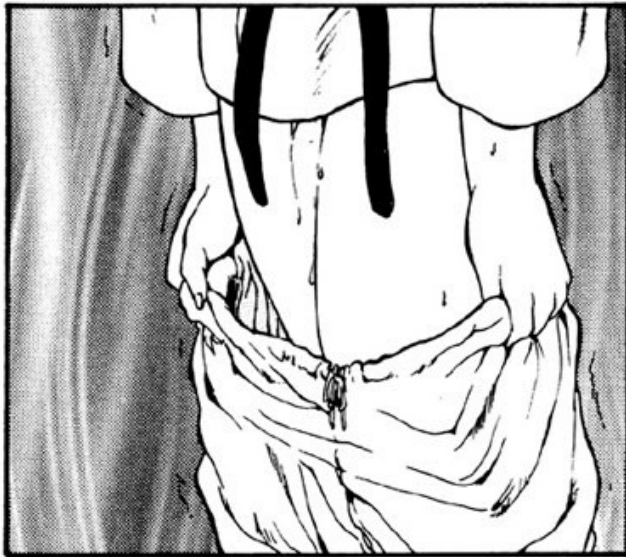
あの女ひとと同じ場所に立ち——





98







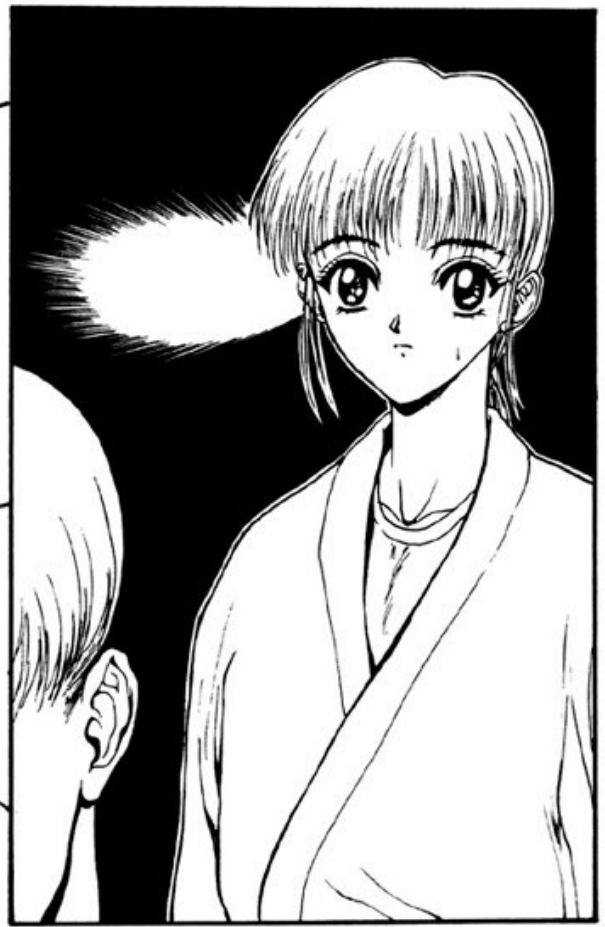
皆さんに  
なぶ  
騙られるのを  
待ちわびていた  
……

スケベで…淫乱で…  
恥知らずな女です  
……



み…  
見て下さい  
……

私は…  
部活のあいだ中  
ずっとこんなモノを  
くわえこんで…



この人の背中が  
見えなくなった  
なぜ？

シヨックだった——  
わからない!!  
今の私には……………



この人のあとを  
追いかけていけない

私は答えを探し始めた……………



瞳 そらさないで...



103





の…飲んで  
下さいよ……  
先輩





あっ……

はああ……

理解できないことは  
問題ではない——

見えてる物が  
すべてではない——

先輩  
今度は俺の上に

そう思うのに  
さして目数は  
かからなかった

は……はい



はあ

あ

っ!!



ふああああ

は……

あああつ……



はあ……は

あ……ん

おろろろ



あつ……

ああ……

おろろろ



めさし.....

んっ.....!!!

ハアア...

瞳 そらさないで...



109



私はこの人の背中だけを見て歩いてきたのだから

そう.....



ほら……

入れたまま  
歩く程度なら……

できるよう  
なったんですよ

ま……まだまだ  
短いあいだだけ  
ですけど……  
これから徐々に……

この人の背中を追いかけてゆく……

それがすべて  
それだけが

私……

瞳 そらさないで……／おわり

# 報いの彼方

それでは……

行ってらっしゃいませ  
旦那様

主人は今日から  
また仕事に  
行ってしまう……

あ……あの

あなた……

今夜はもう  
お戻りには……？

当然だ

早くても  
帰るのは  
二週間後  
になるだろ

留守中のこと  
しっかりたのむぞ

……はい

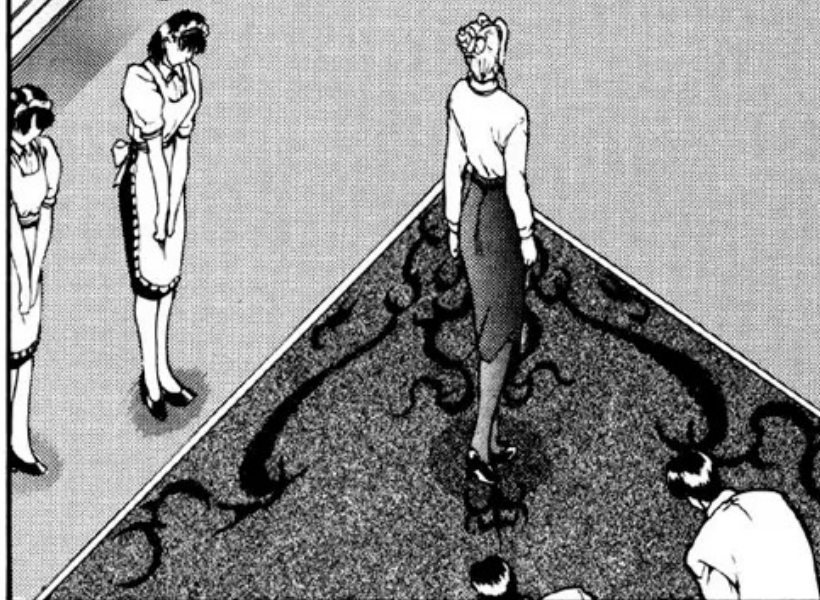
今夜から……  
また  
始まるのだ

ん……

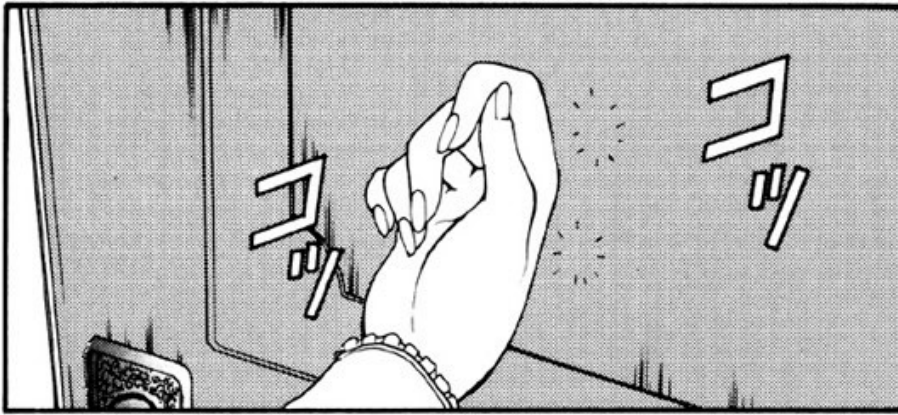
# 報いの彼方

私にとって……

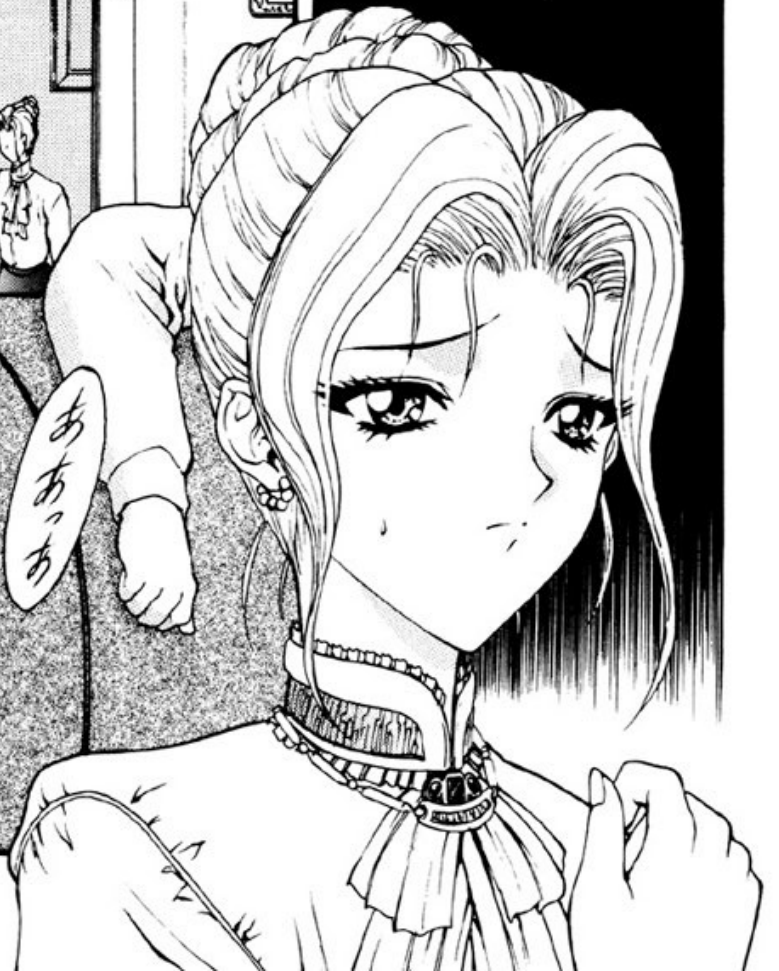
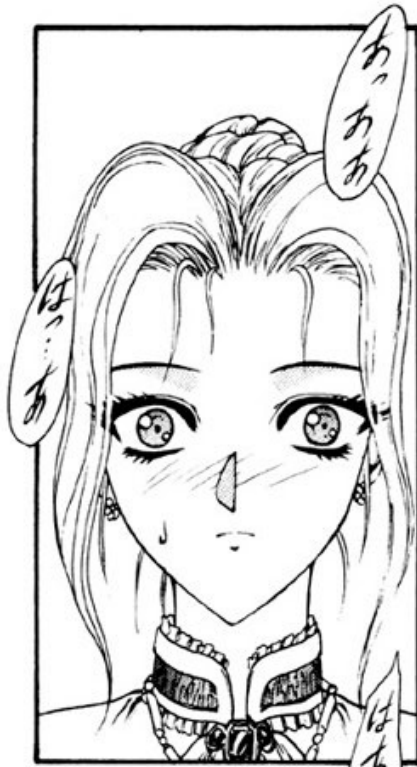
罪の報いとでも  
言うべき  
時間が——



# 報いの彼方



113





あつ…は…

い…い…  
いのお…

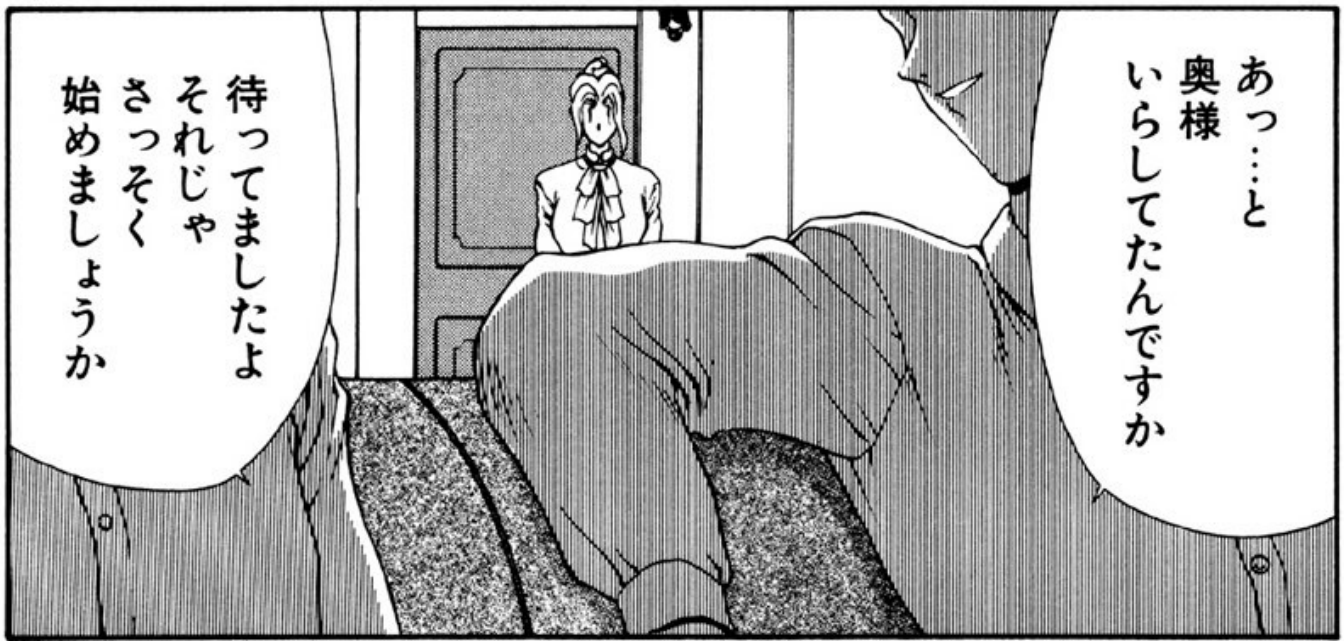
はあ…



もつと…  
もつとお…

私のオピ…  
もつとグチヨグチヨに  
かきまわしてえ…

# 報いの彼方



あつ…と  
奥様  
いらしてたんですか

待ってましたよ  
それじゃ  
さっそく  
始めましょうか

115

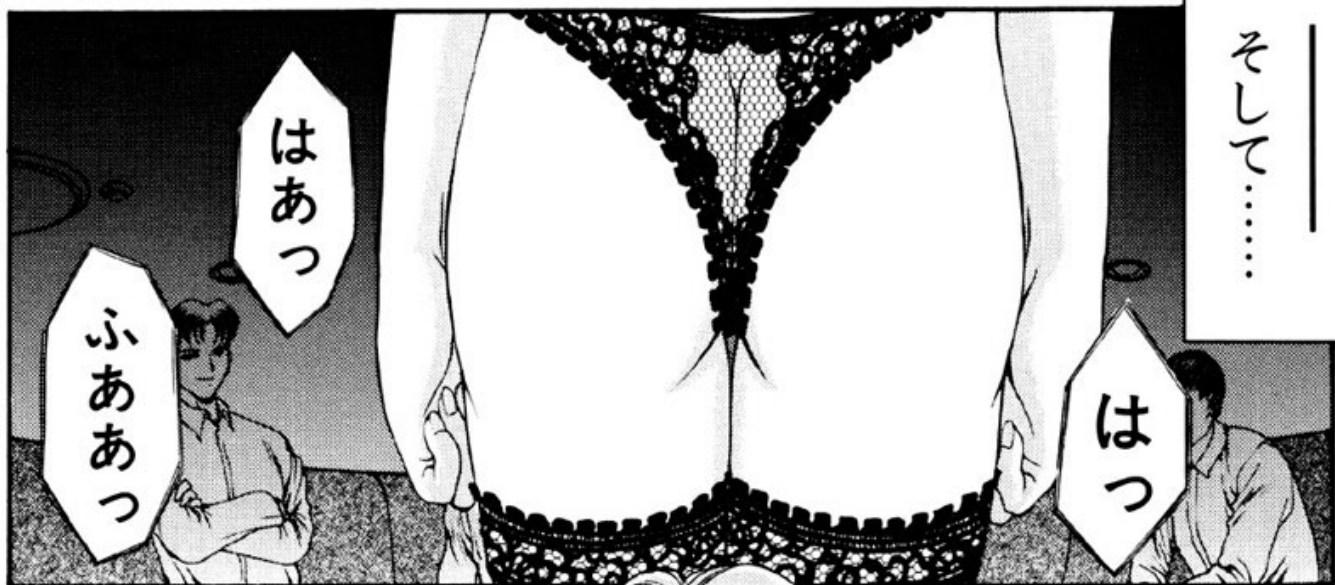


そう…  
これは報いなんです

あの人なら許してくれる…  
そう思いながらも  
私は結局  
夫を信用することが  
できなかつた……

主人に見染められた時  
明かせなかつた  
私の過去

私は最初から  
あの人を  
裏切ってしまった

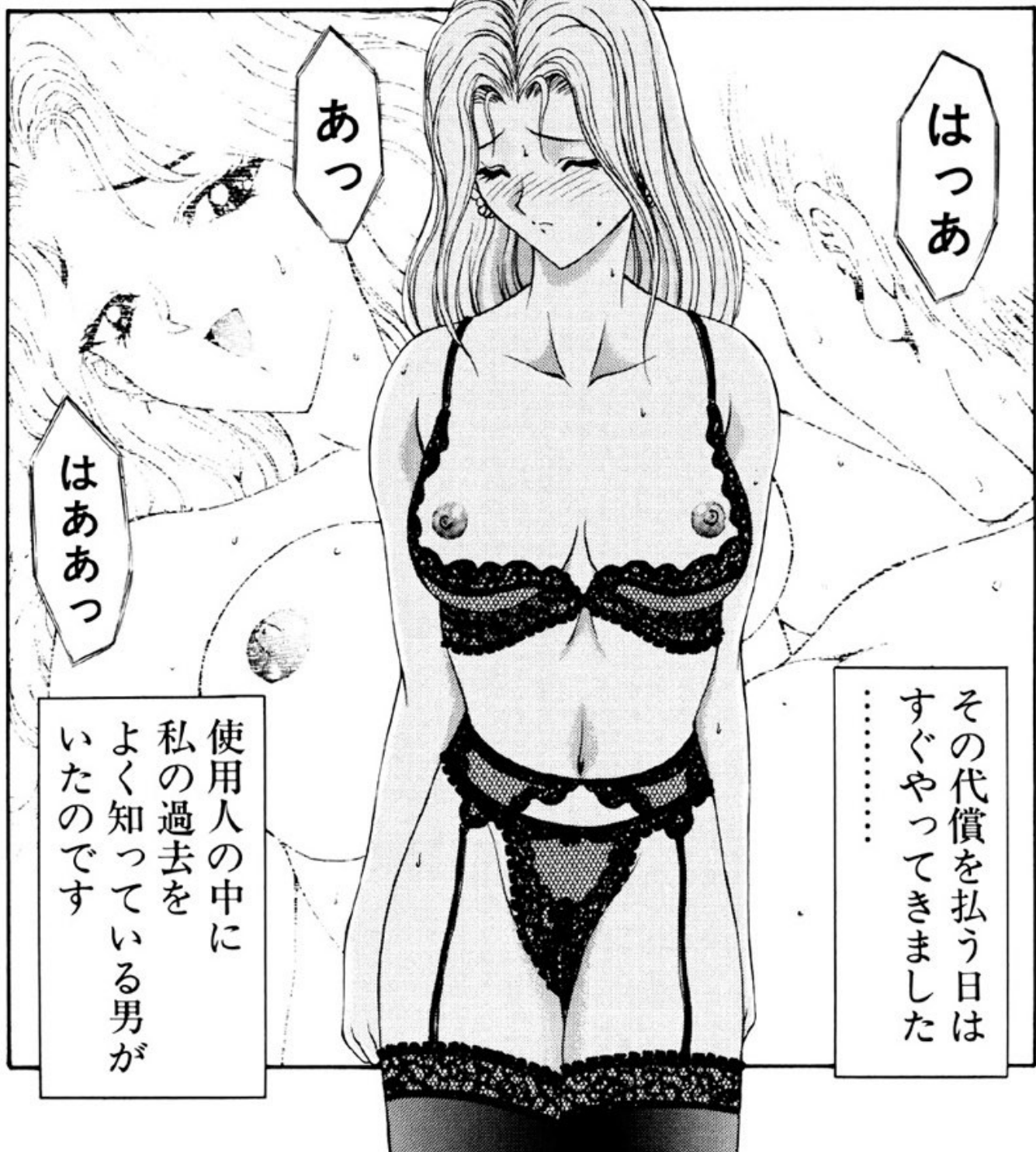


そして……

はあっ

ふああっ

はっ



はっあ

あっ

はああっ

その代償を払う日は  
すぐやってきました  
……

使用人の中に  
私の過去を  
よく知っている男が  
いたのです

# 報いの彼方

み……  
みなさん

今日も一日  
ご苦労さまでした  
……………

私の……  
オナ……

今夜も  
不在の主人にかわって  
妻である私が……

お礼の意味も  
あわせて  
みなさんの労を  
ねぎらうため……

精一杯の  
ご奉仕をしようと  
思います

まずは……

……………  
オナニー……シヨールを  
ご覧下さいませ……



んん...

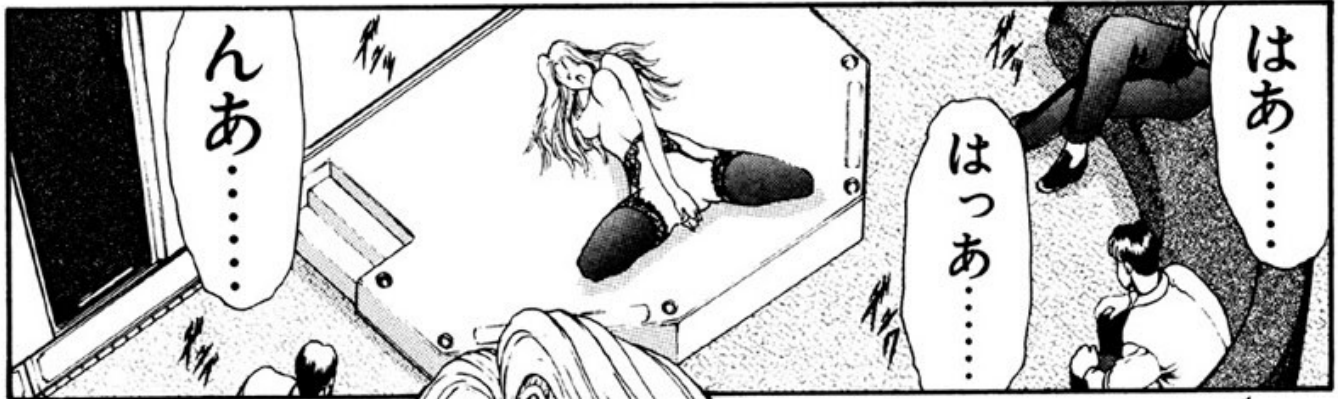
んんん

んああ...

んん...ん

ん...ん

# 報いの彼方





私は口止め料として  
身体を要求され……

うしろめたさから  
それを拒むことも  
できませんでした

私は

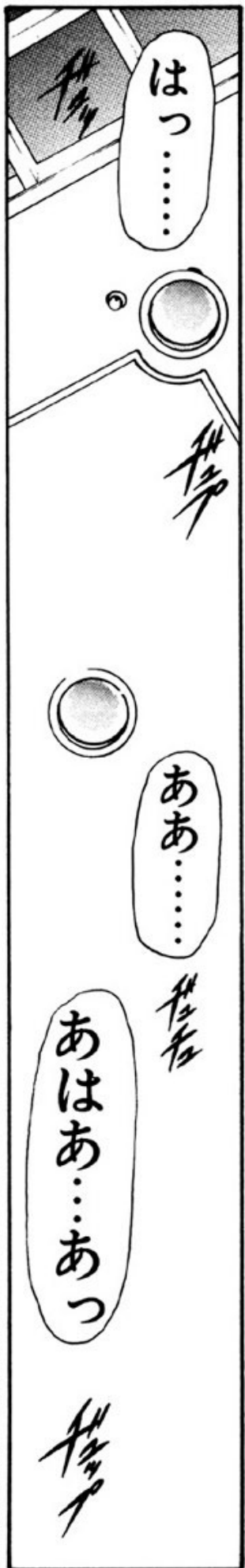


そのあとは  
まるで坂道を  
転がり落ちるように  
……………



あっ…あ

はあ…

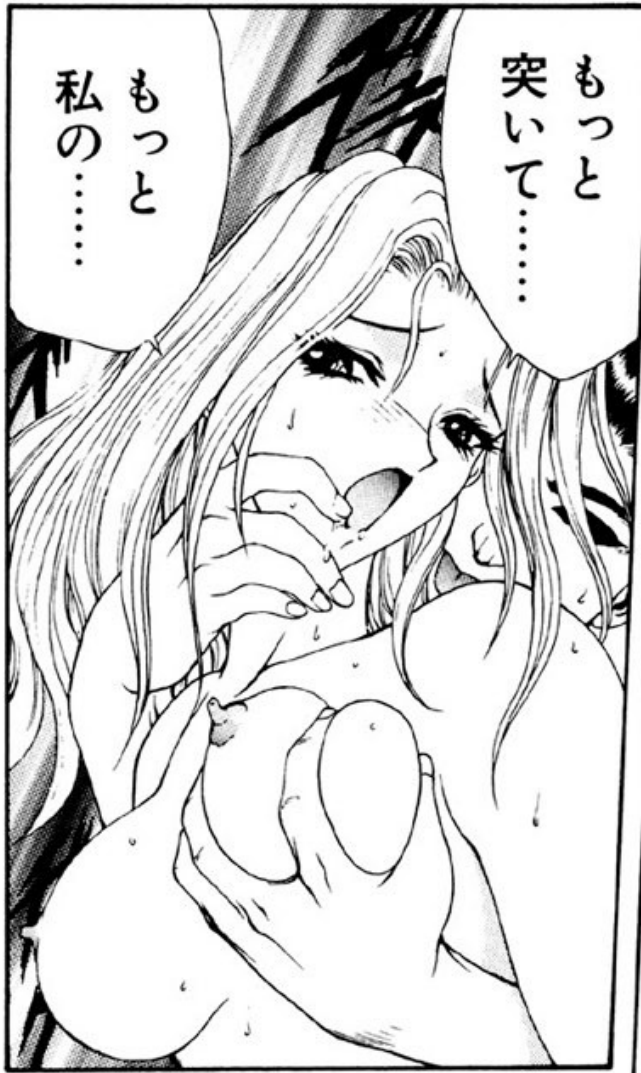


はっ…

ああ…

あはあ…あっ





もつと  
突いて……

もつと  
私の……



ふあっ……はっ

あはっ……

はああっ



オ……  
オ○○○……

グチヨグチヨに  
かきまわしてえ

もっ……

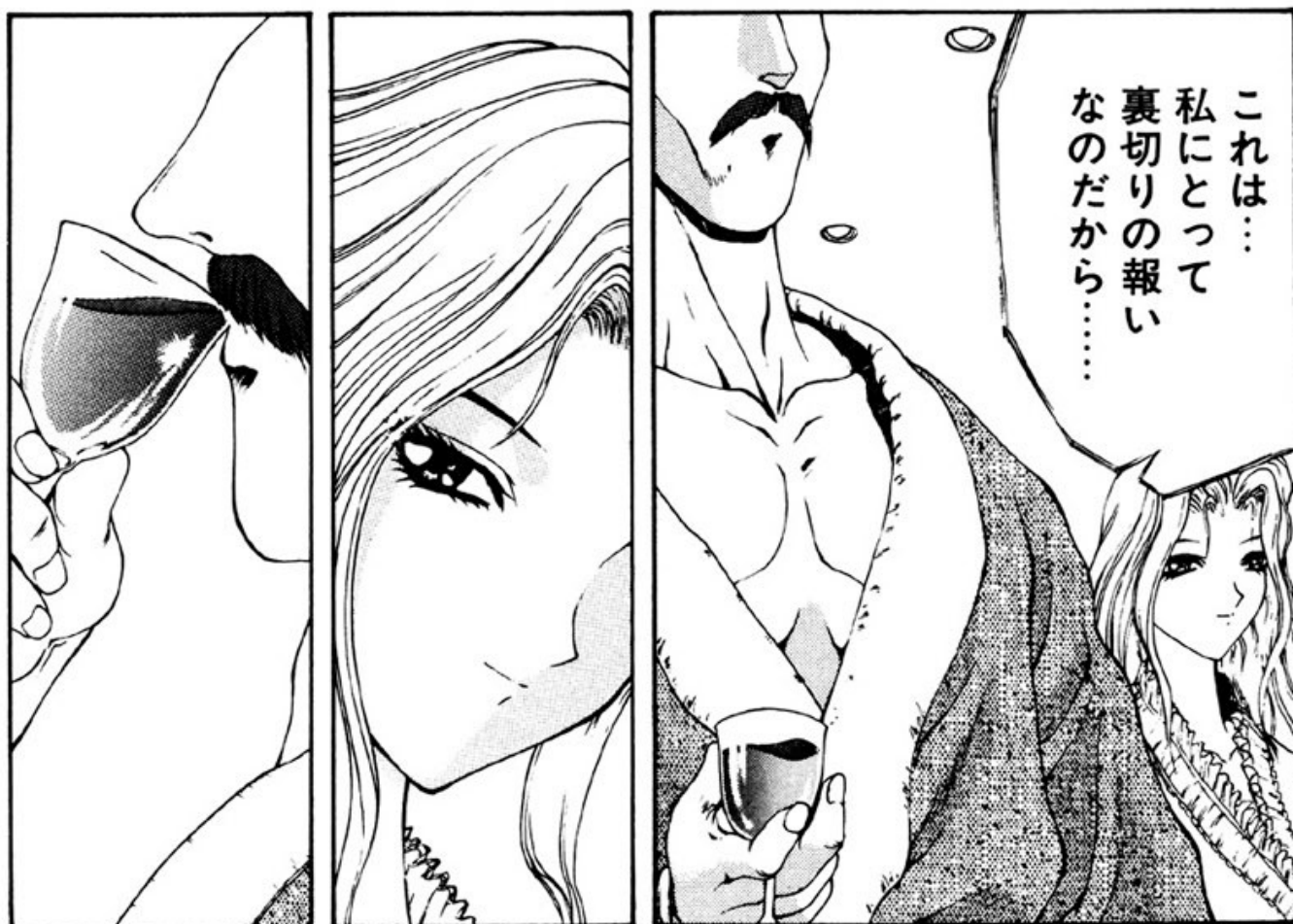
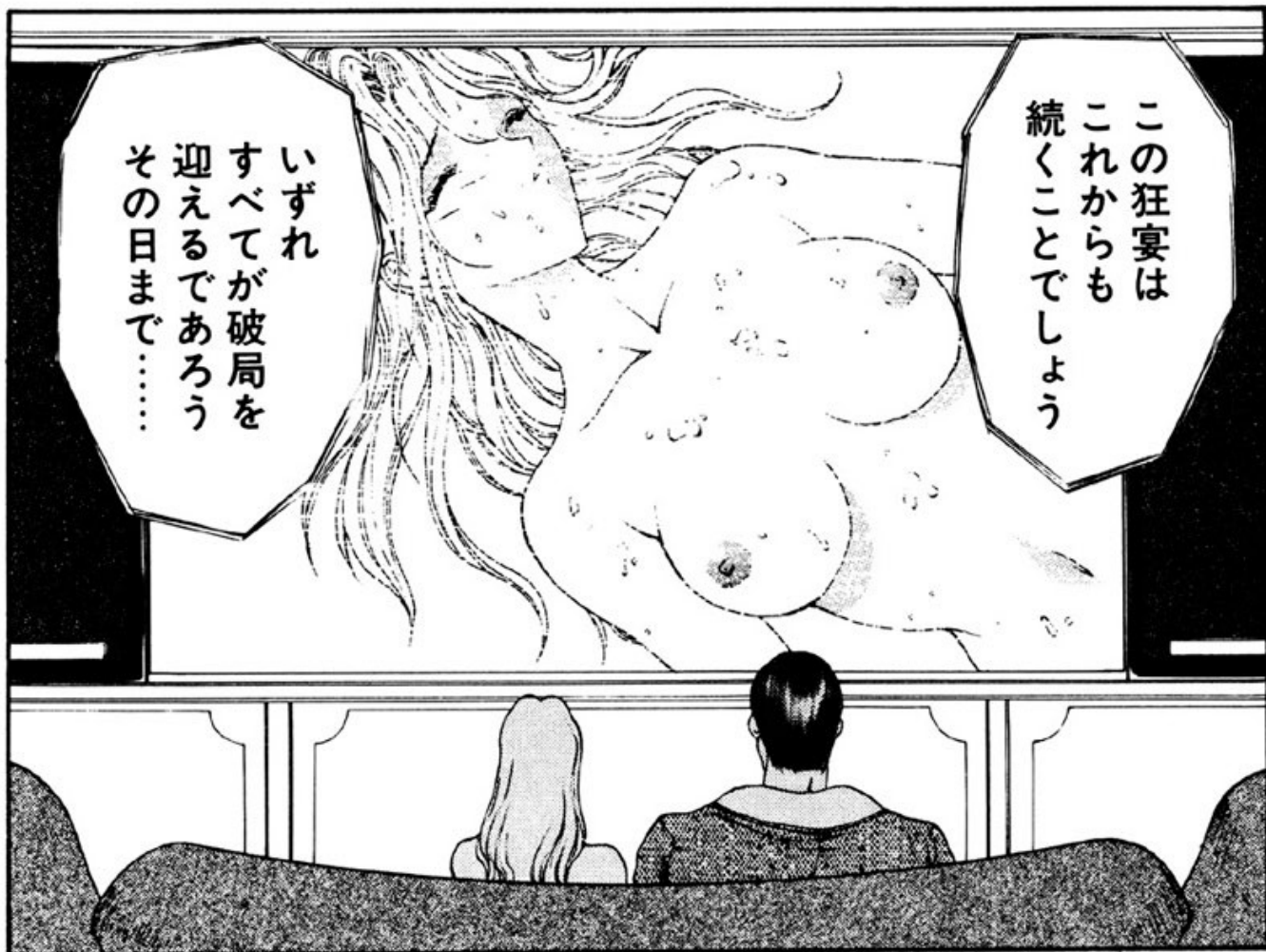
私は  
後戻りすることは  
できません……



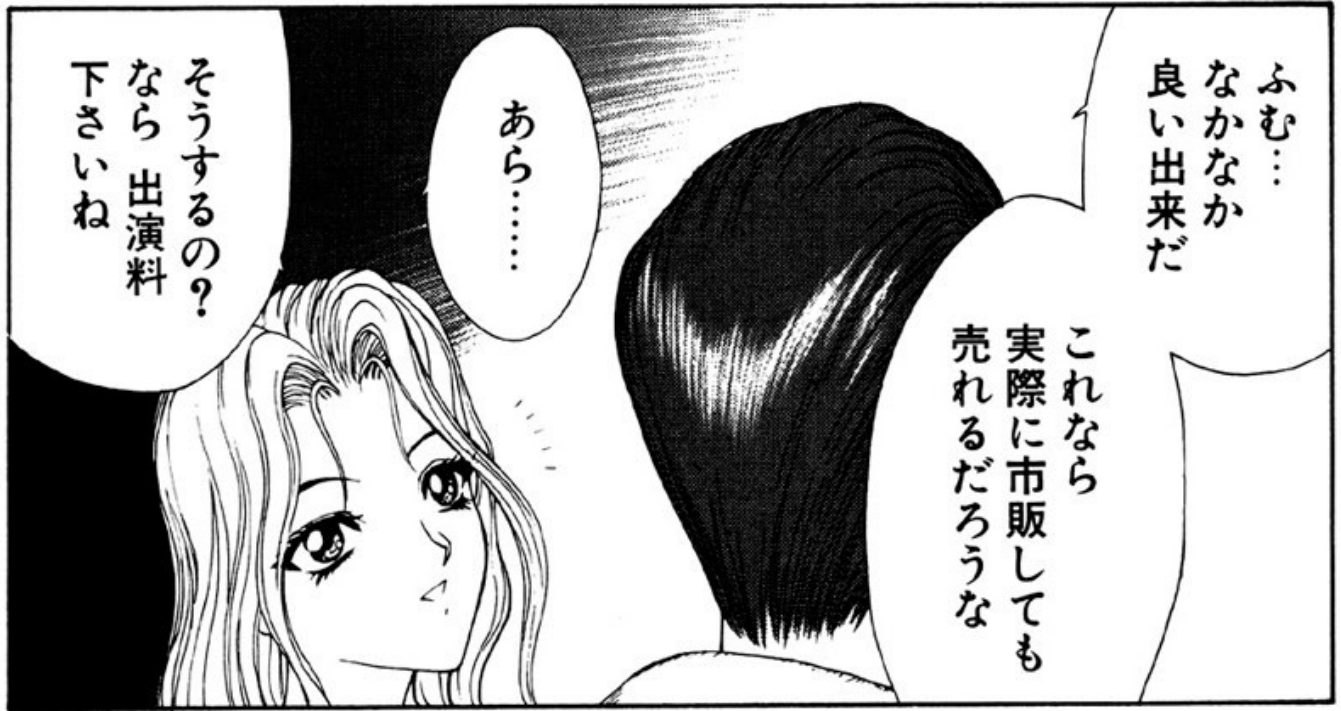
あ……

あ……

あ……  
ああ……あ……



# 報いの彼方







# PRISON GAME





クズども：  
よく聞け

私の名は  
エステシア  
この国の王女だ

おまえらに  
尋ねたいことが  
あるのだが…  
どうだ？…この私を



# PRISON GAME



131

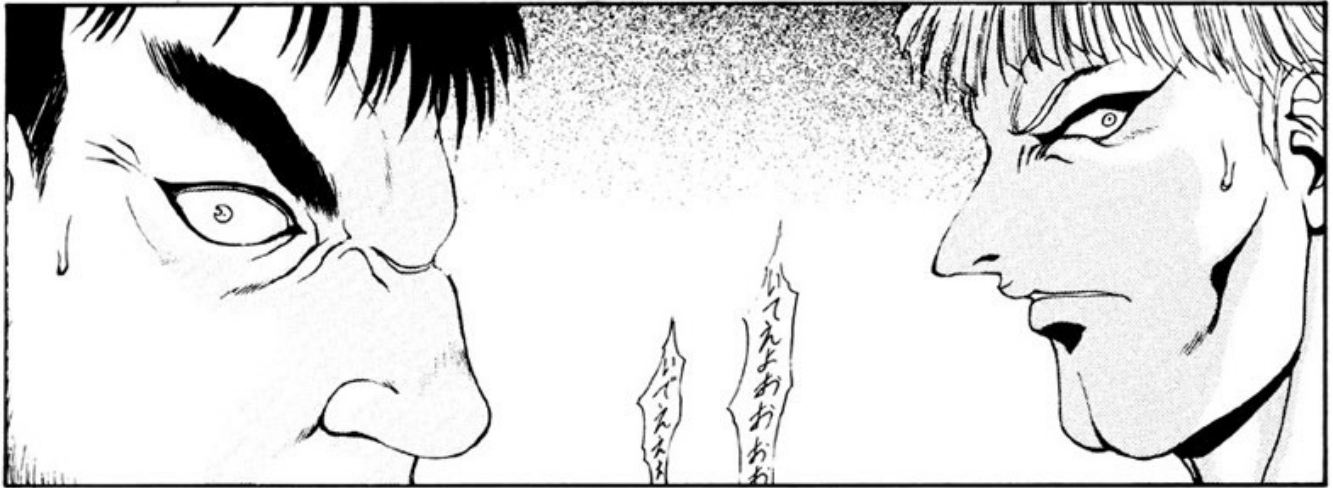




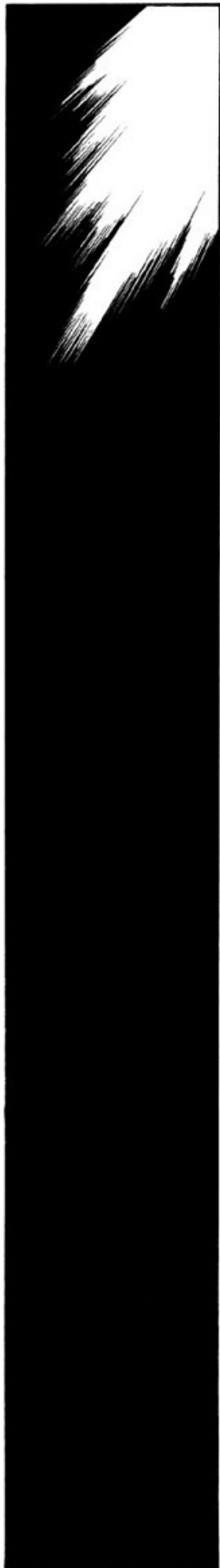
132

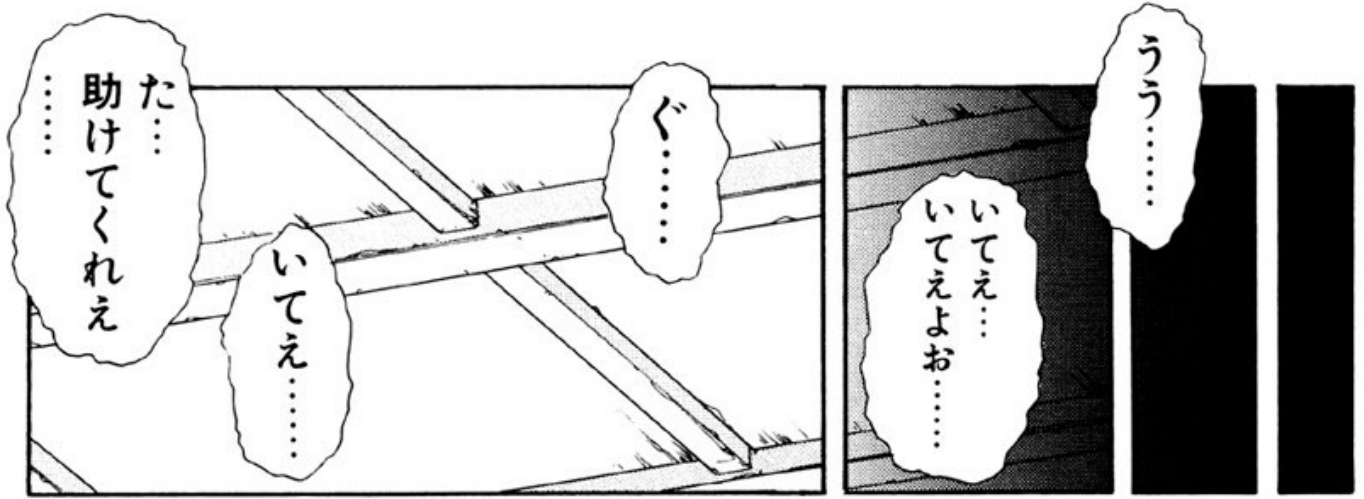


# PRISON GAME



この  
あま  
女あつ!!!



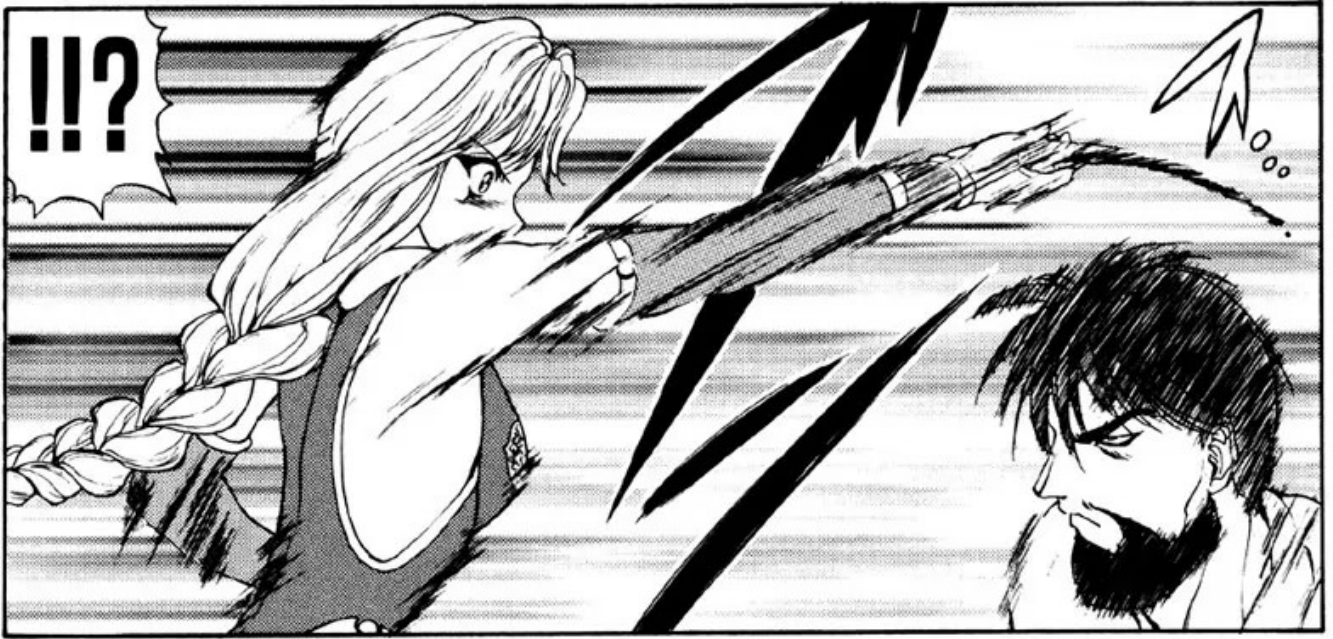




136



# PRISON GAME





あ……が……

ビ  
ン  
ビ  
ン  
ビ  
ン

# PRISON GAME



139



ホ…ホントかよ  
なんでお姫さんが  
こんなことを…!?

す…  
すげえじゃねえか  
あんだ…

や…  
やった

それにしても  
この女…  
自分は王女だとか  
ぬかしてたが…

ああ…  
そのとおりだ  
見たことがある

こいつは  
真正正銘  
エステシア  
王女様だよ

さあな…  
おおかた遊び半分で  
俺達をからかいに  
きたんだろうが…  
まこの俺がいたのが  
運のツキだったな

や…  
やめろ!!

貴様ら…  
こんなことをして  
許されることも…

さ…さわるな!!  
汚らわしい!!

この  
スベスベの肌  
……

これが  
女王様の  
オ○○○か…  
へへ…どれ  
普通の女と  
違うところがないか  
探してみよ

140

い…い…い…  
い…い…い…!!

い…い…  
い…い…!!

い…い…  
い…い…!!

っ!!!

いい身体だ…  
本当に…  
いい身体だなあ……

お…俺…今  
王女様と  
キスしてるん  
だよな……

んん…

かわいい指だ…  
喰っちまいたいぜ

ムンムン……

ククク……

ヒヤハハハハハハ



あ……

あは……

ああ……



いいせ……いいせえ!!  
これが王女様の味が……  
最高だぜ!!

ふあ……

たまらねえな……  
こいつが  
さっきまでの  
あの高飛車な女だと  
思うと……

あ……あ

あ……は

は……

へへへ……  
みじめだねえ 自分で  
クズ呼ばわりした男達に  
煽られてんだからな



うぶっ……

どうだい  
今の気分はよ?  
え?……  
え?……

こんな地下牢に  
誰も助けになんて  
きちゃくれねえぜ

ん……

つまりな……  
あんたは  
もう完全に俺達の  
性奴ってわけだ!!

ん……む

ヒャハハハハハハ

へへへ…  
出すぜ  
出すぜ  
出すぜ……

王女様の膣内に……  
おもいつきり  
注ぎこんでやるぜえ

!!?

い……いやっ

やめてっ……

おれなごでえん!!!

!?

おっと……  
全部飲みほすんだよ

んんん……ん——っ!!

ググ…

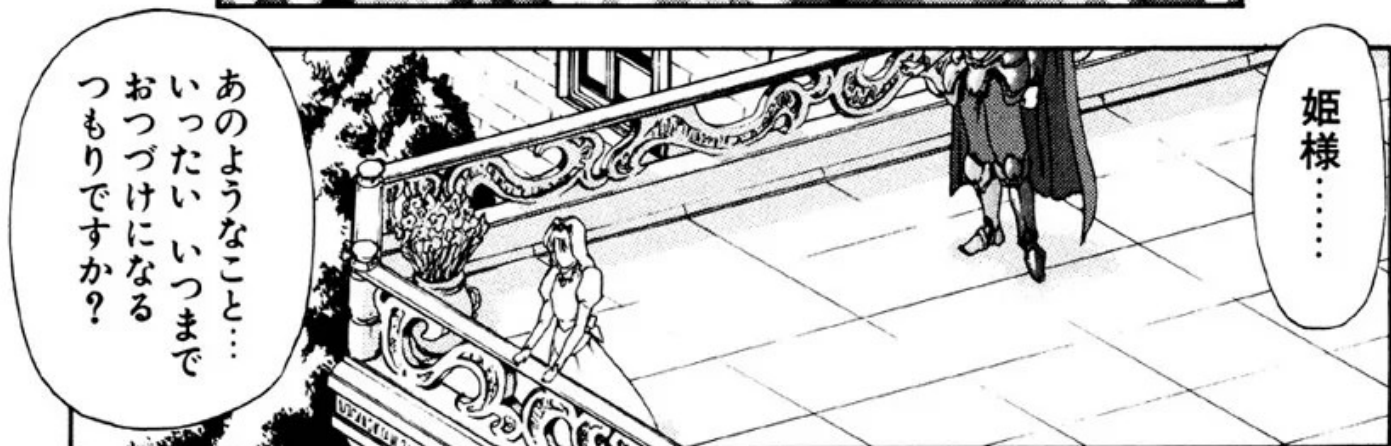


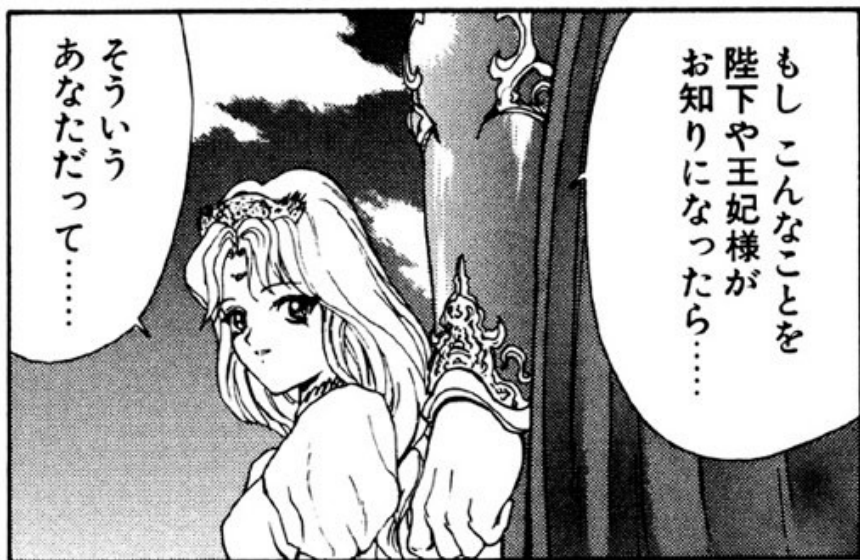
へへへ…  
もう自分から  
腰振るようにな  
ってききたな  
いやらしい  
お姫様だね  
まったく…!!

がつつくなよ  
まだまだたつぶり  
飲ませてやるからよ!!

ん…  
ヒヒヒ…  
ガキが  
できちまったらよ  
産んでくれよな  
王女様よ!!

お香お香





もしこんなことを  
陛下や王妃様が  
お知りになったら……

そういう  
あなただって……

146



そんな  
近衛隊長の  
鎧より……

最近はやっぼど  
あの囚人の方が  
似合ってきてるわよ

そんなことより  
……

あの囚人達の  
処理は  
済ませたの？

お……  
お戯れを……

は……はい  
昨夜のうちに  
全員……

そ……

なら  
次の囚人の  
手配……  
急いでね

あれは  
私だけのモノ……

私だけが  
楽しむことを  
許され……

私だけが  
感じることの  
できる快楽

この世で唯一  
最高の……刺激

# NONSTOP SHAMELESSNESS



# NONSTOP

PRISON GAME II

# SHAMELESSNESS

牢屋の中の  
囚人に輪姦されて  
.....

よがり  
狂っちゃまってるん  
だからな

.....  
それにしても

正直  
見てるだけってのは  
生殺しだぜ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

やっちまうか？  
このあとにでもよ

顔を隠せば  
バレやしねえぜ  
絶対

は  
あ

あ  
あ

そうだな  
へへ：  
やるか！！

まあ：  
待てよ

あ  
あ

あ  
あ

!?

ああ  
姫の遊び<sup>ゲーム</sup>に関わった者は  
一人残らず消されるそうだ  
口封じのためにな

あの  
「鬼姫」って呼ばれてる  
エステシア王女と  
まともにやりあう気か？

それに話によると  
近衛隊長のハルバドス様も  
裏で協力してるらしいぜ

ひ…  
ひでえ話だな

じゃあ  
こいつらも  
このあと……

近衛隊長が？

そこでだ……

どうだ  
おまえら

俺の計画に  
のってみる気は  
ねえか？

計画？

そうだ!!  
俺の言うことに  
従ってくれりゃあ……

いい思いさせて  
やるぜ  
たっぷりとな

それで……

昨夜の後始末は  
すべて  
済ませたん  
でしょうね

ハルバドス

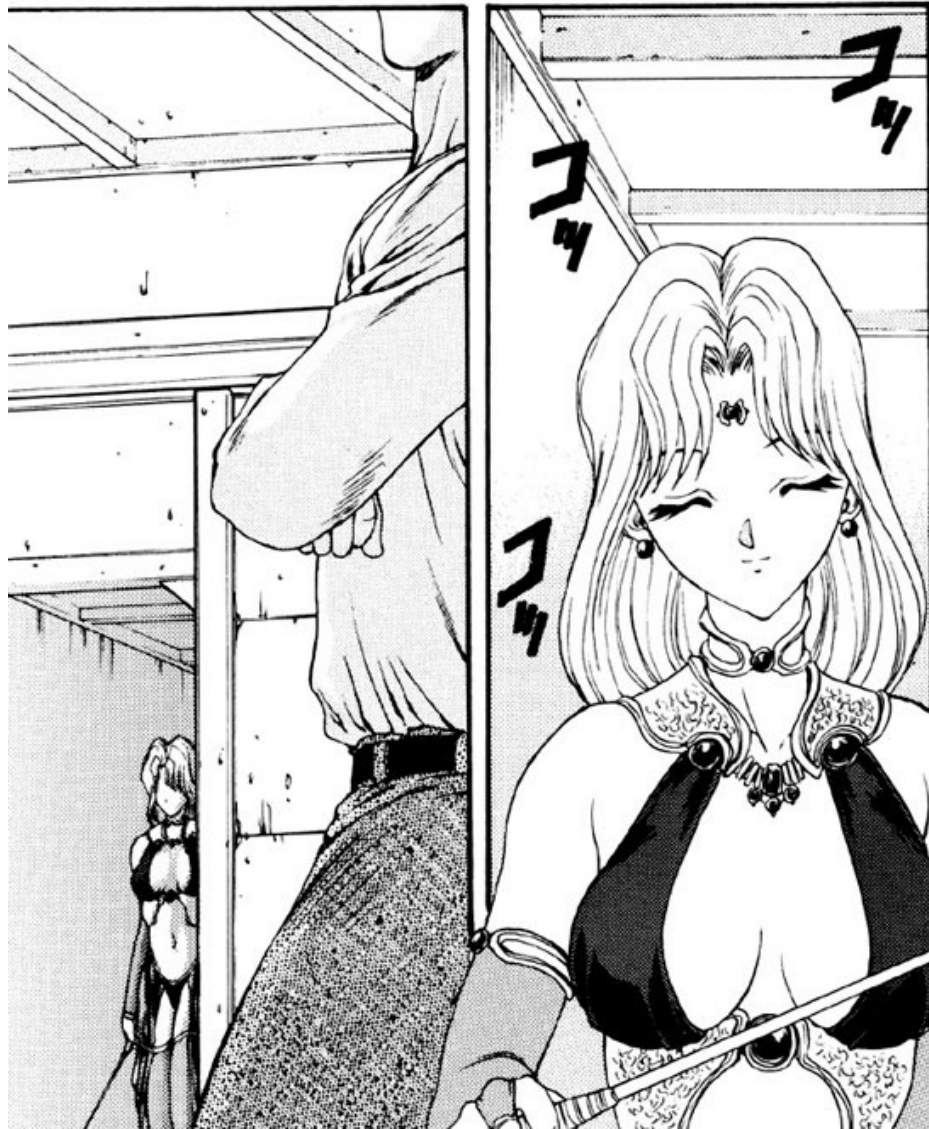
は……

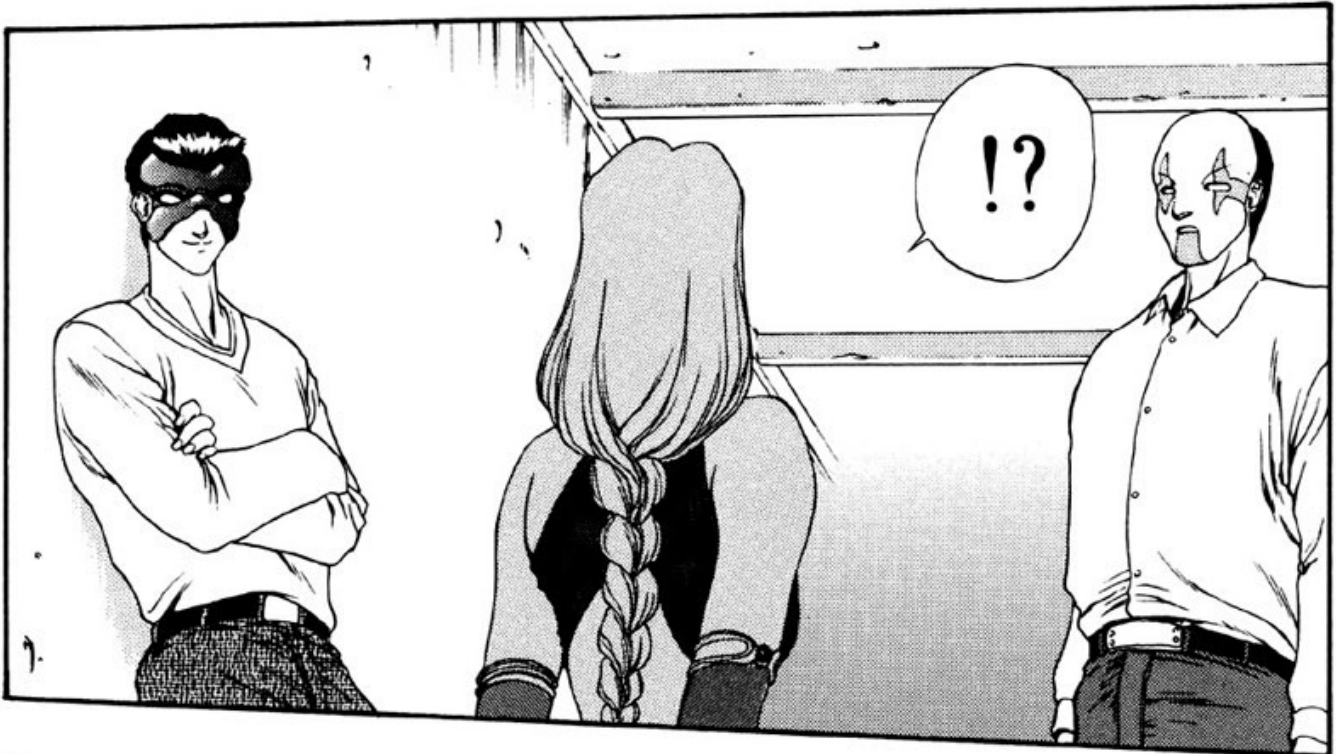
その点に  
ぬかりは  
ございません

……

今夜は  
どういたします？  
準備はすでに  
整えておきましたが

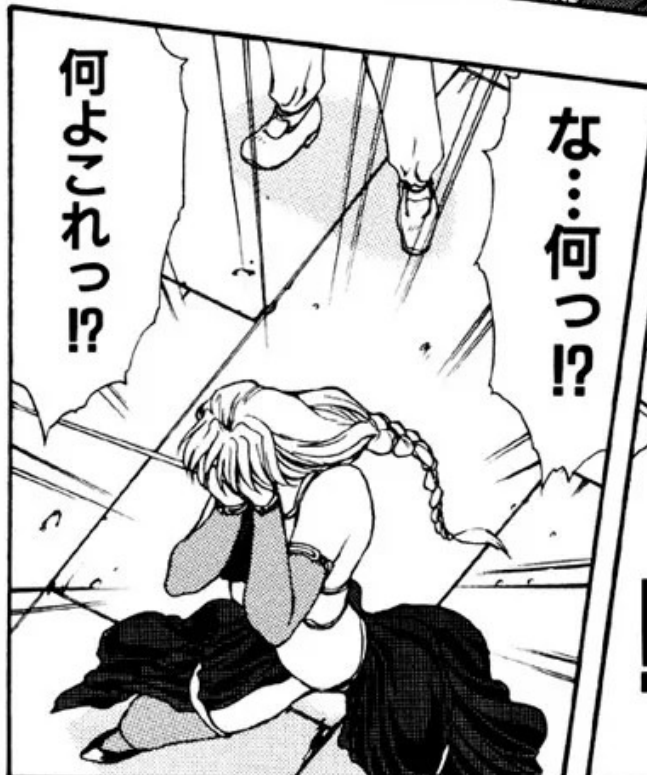
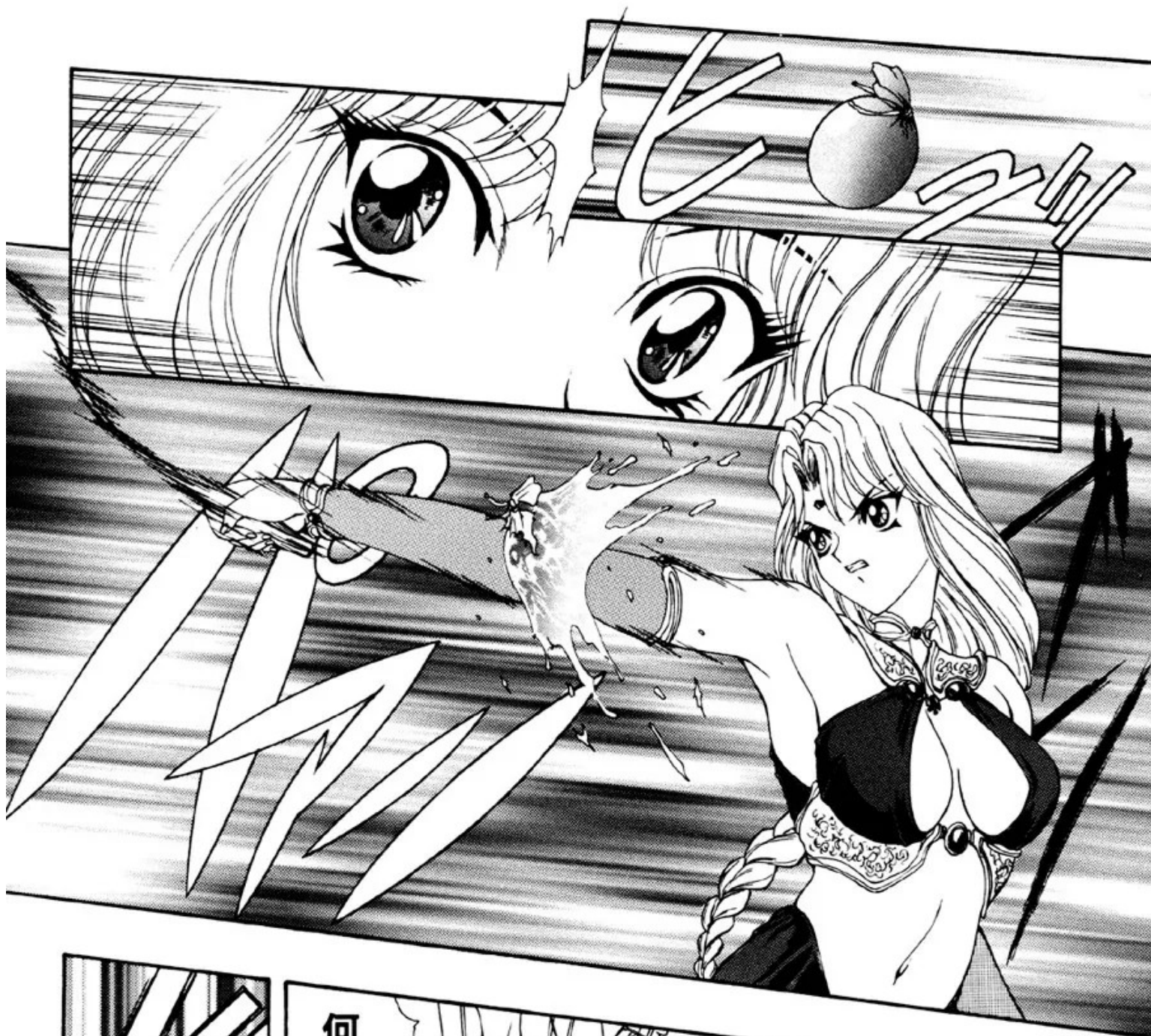
# NONSTOP SHAMELESSNESS



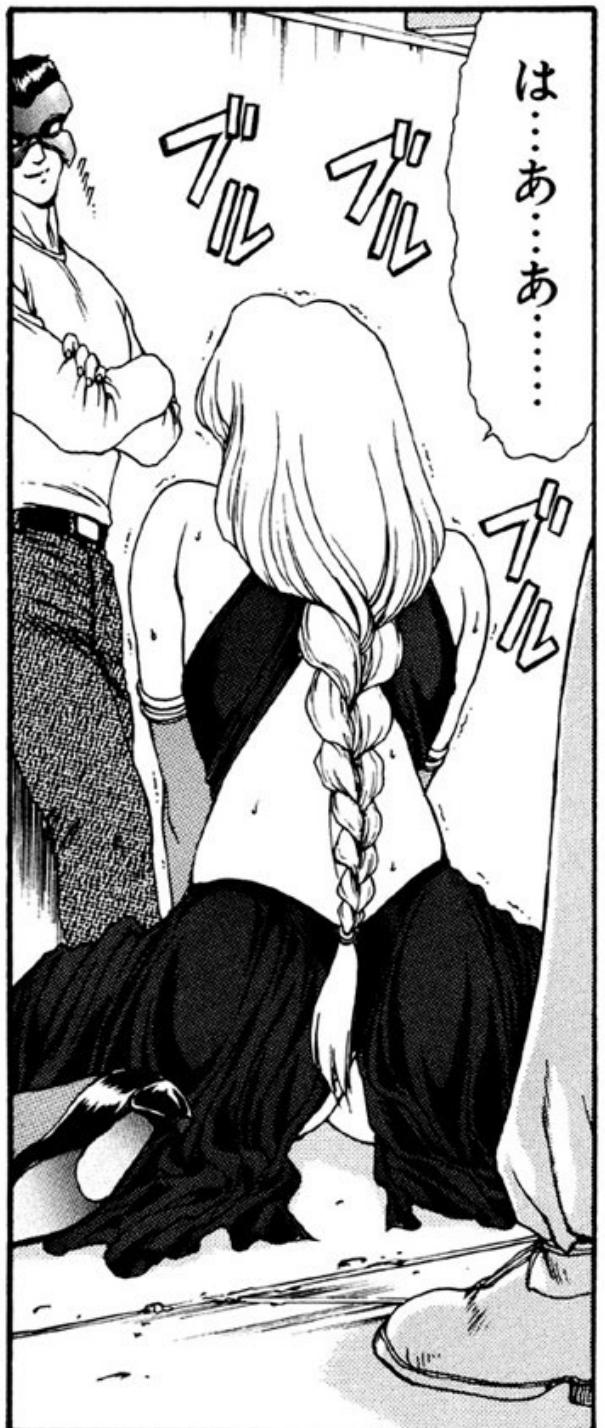


# NONSTOP SHAMELESSNESS





# NONSTOP SHAMELESSNESS



へへ…まさか  
こんな  
うまくいくとはな

まさしく  
あんたの  
計画どおりに  
なったわけだ

158

それじゃ  
……

たっぷりと  
楽しませて  
もらうとするか

はあ…ああ……

あ…あ……

ハハ  
ハハ  
ハハ  
ハハ





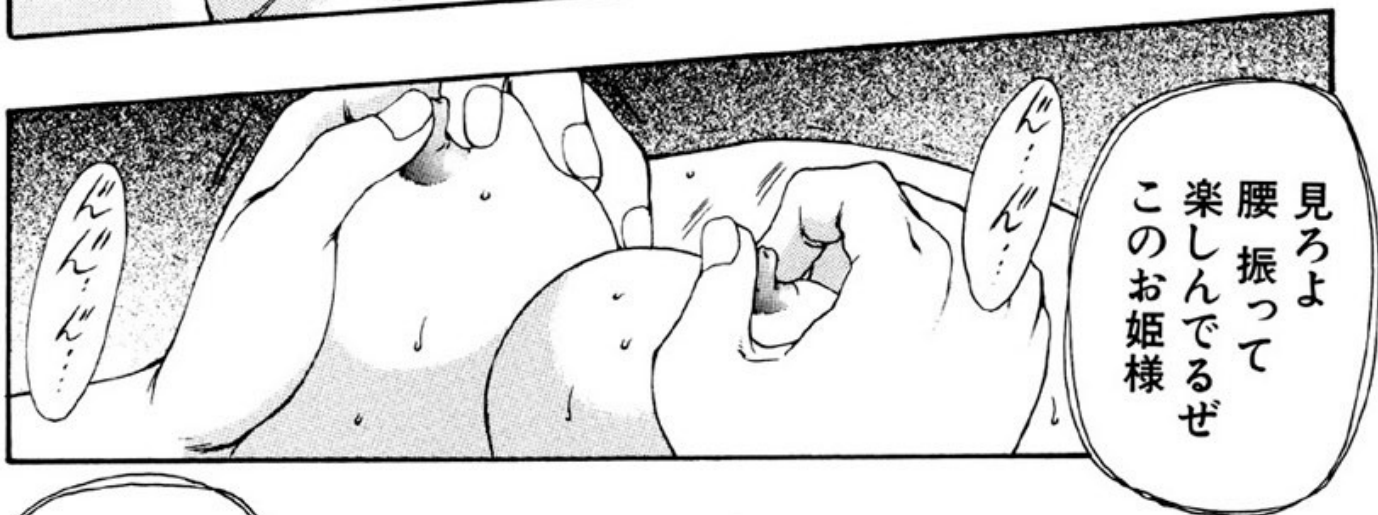
へへへ…  
王女様をやれる  
なんてよ……

まさか  
夢にも思っ  
てなかつたぜ

ぐんっ……

ぐんっ……

ぐんっ……



見ろよ  
腰振って  
楽しんでるぜ  
このお姫様

ぐんぐん……

ぐんぐん……



こっちもだ  
根元まで  
くわえこんで  
放そうともしねえ

たいした  
淫乱だぜ  
まったくよ……

ヒヒヒ……

クククク……

締まる  
締まる  
締まるぜえ

前もうしろも  
最高に  
締めつけてきやがる

これで毎日  
使いまくってる  
なんて  
信じられねえよな

さすがは王女様  
穴の方も  
最高級品を  
持ってるってわけだ

ハハハハハ



ほれ  
くれてやるぜ

どうだ  
うめえだろ  
俺のはよ

まだ  
足りねえか





淫乱姫様よ



へへへ：  
なかなか  
よかったぜ

それじゃあな

それにしても…  
あんたの計画  
完璧だったな

まったくだ  
これほど  
うまくいくとは  
思わなかった

改めて  
礼を言うぜ

何……………

それには  
及ばんさ

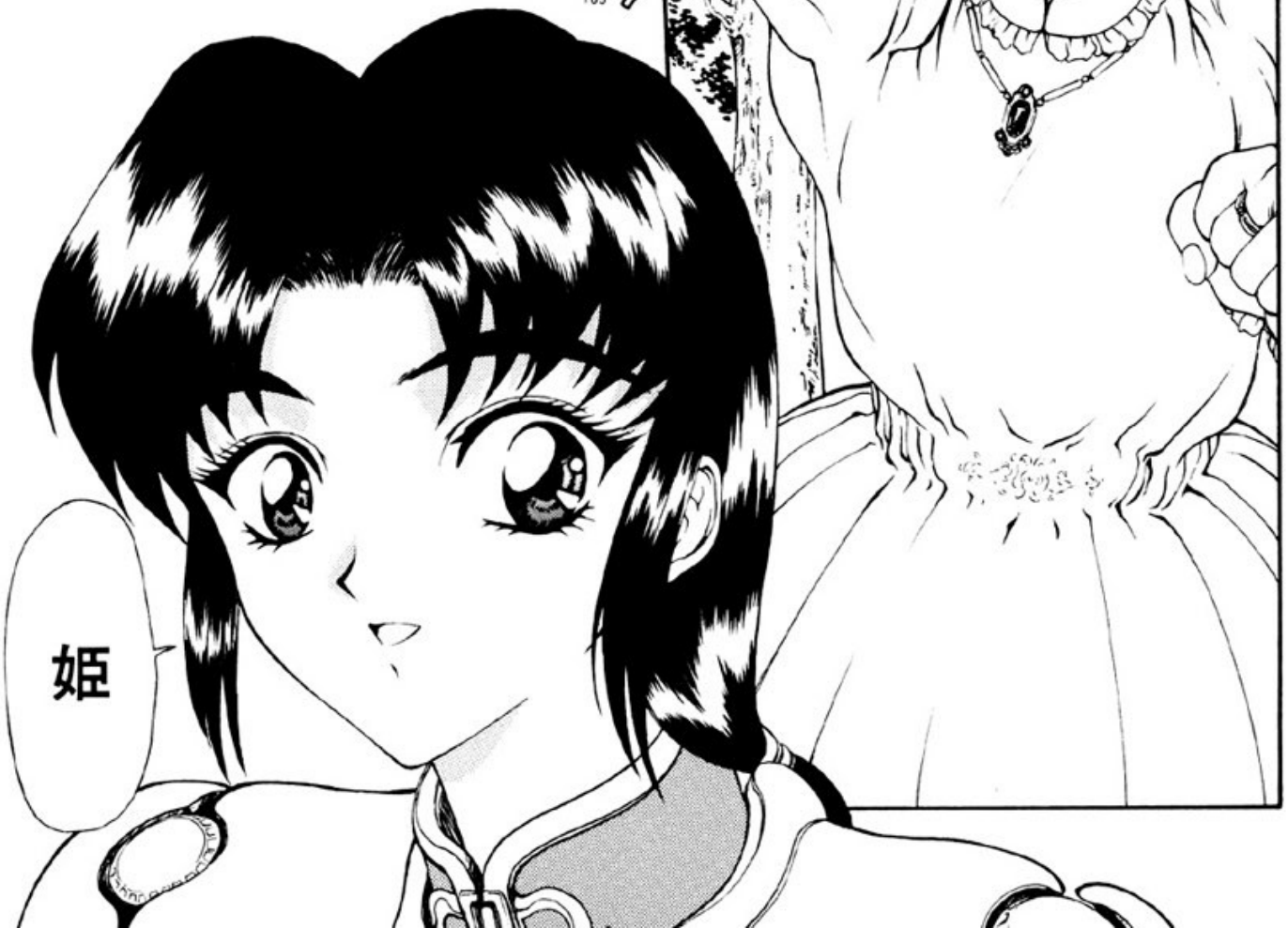
協力して  
もらったのは……

こっちの方  
なんだからな



今でも  
ときどき  
思い出す——

アイソラジユ  
ツッ!!

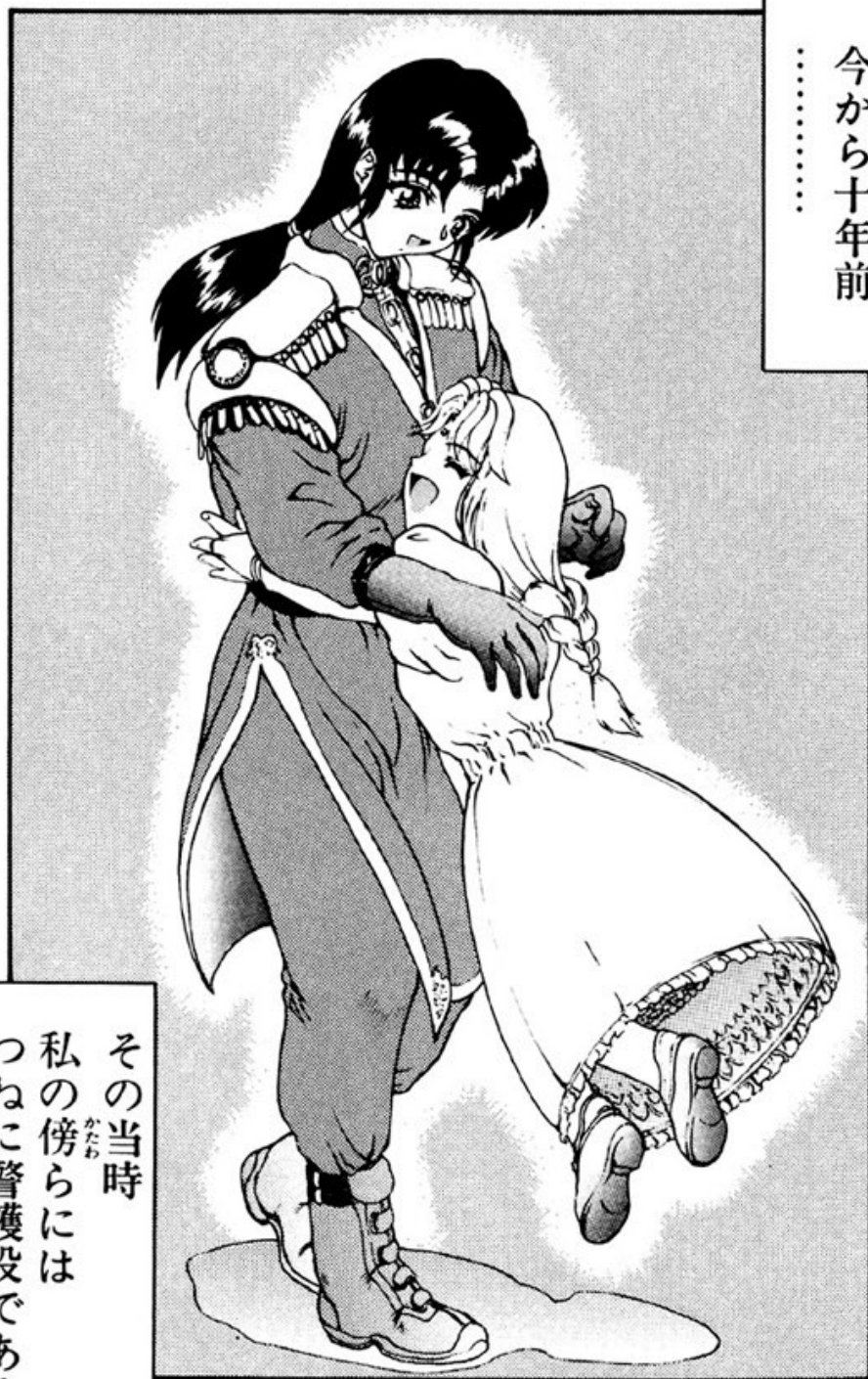


姫

PRISON GAME 外伝

# REMINISCENCE

あれは  
今から十年前  
……



その当時  
私の傍らには  
つねに警護役である  
アイリツシュが  
いてくれた

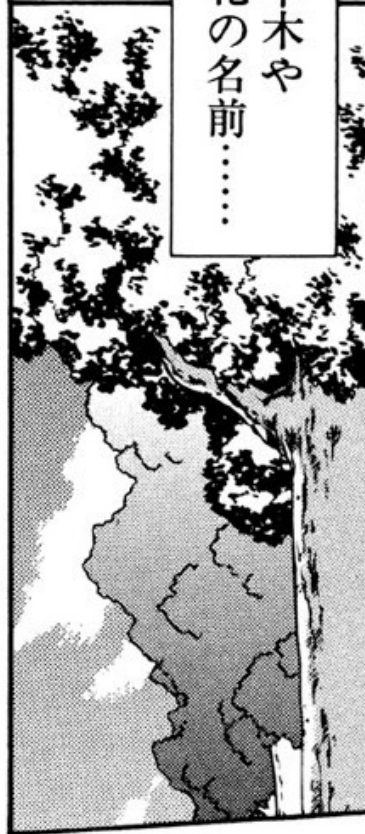
彼女は私にとって  
心を許せる  
姉であり……………

草木や  
花の名前……………

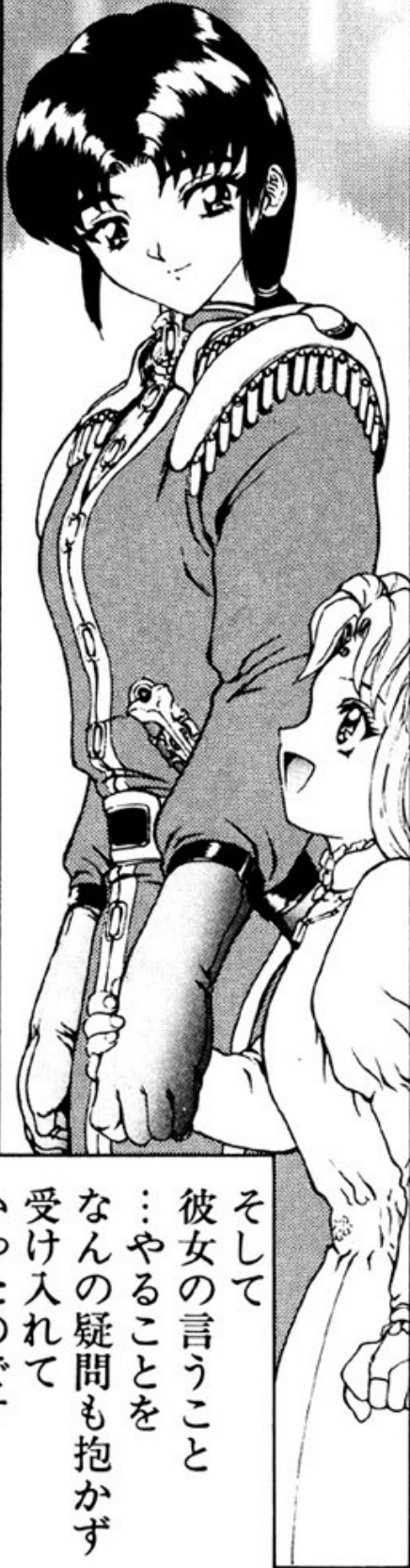
私は  
そんな彼女が  
大好きでした



敬愛すべき  
師でもありました

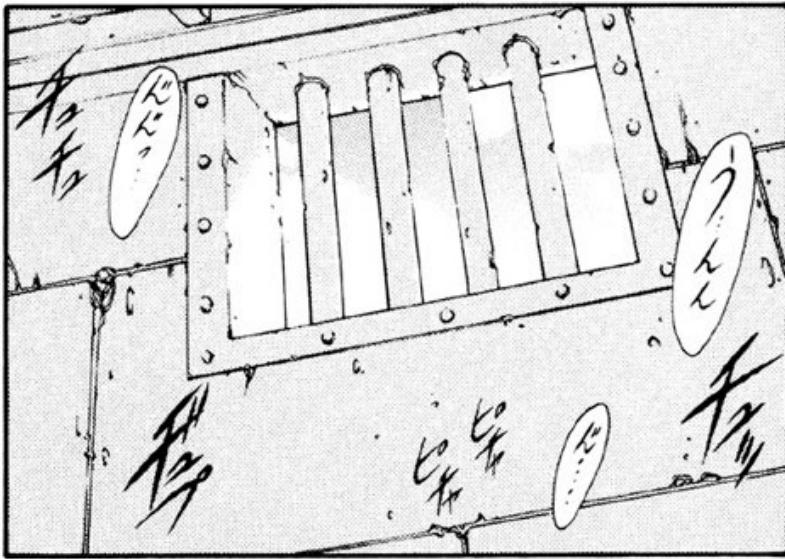


さらには基本的な  
剣術まで彼女は  
さまざまなことを  
私に教えてくれた



そして  
彼女の言うこと  
…やることを  
なんの疑問も抱かず  
受け入れて  
いったのです

そんなある日のことでした



私にとって  
忘れることのできない  
ひとつの事件が  
起こったのは……

眼前で  
繰り返りひろげられる  
狂宴——





ぐっ…ぐん…

ぐん…

ぐっ…



それだけは  
やめてっ!!!

や…やめて!!

!!?



俺はあっちの  
お姫さんに  
相手して  
もらおうかな



ほれ…もっと  
しっかり  
腰動かせよ

まだまだあとが  
つかえてるんだぜ  
おまえができないって  
言うんなら…

私が全員と  
相手しますから  
……

なんでも  
します!!

何をされても……  
どこを使っても……  
構いませんから……

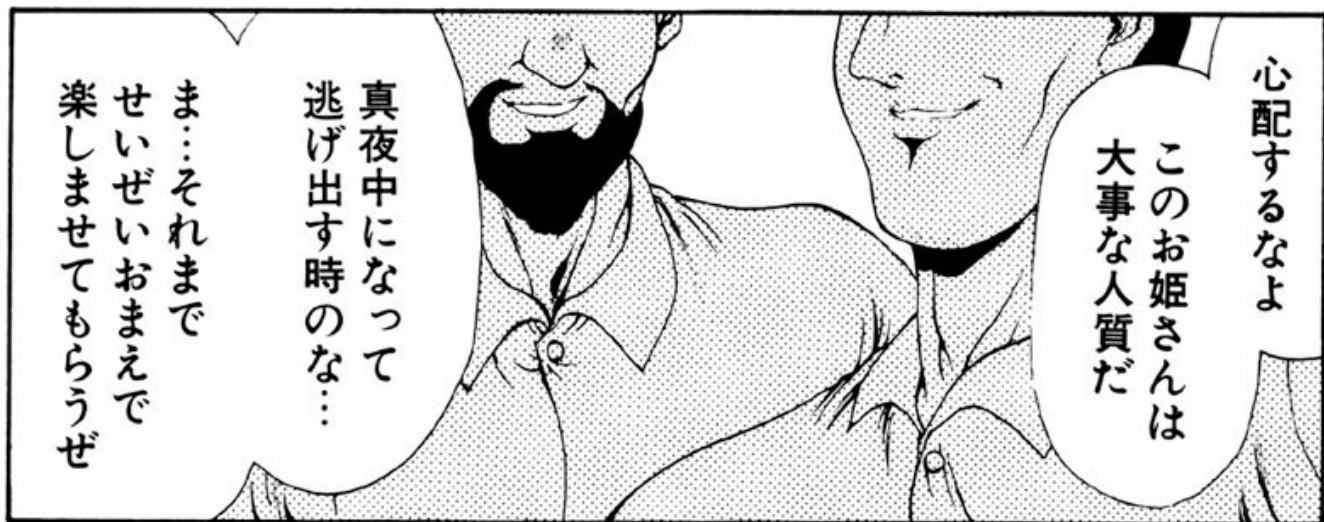
だからお願い……

姫には……姫にだけは  
手を出さないで……

私のせいだった  
………

アイリツシユが忙しくて  
遊んでもらえなかった  
ことに駄々をこね……

構ってもらいたい一心で  
彼女の制止もきかず  
ここに入りこんで  
しまったのだから……



心配するなよ

このお姫さんは  
大事な人質だ

真夜中になって  
逃げ出す時のな…

ま…それまで  
せいぜいおまえで  
楽しませてもらうぜ



そして彼女は  
私を守るため  
……………

あっ

はあっ

はっ

ん

ふあっ

はっ……

その身を囚人達の  
たまりにたまった  
欲望によって……

ふあっ……はっ……

汚し尽くされて  
いったのです

はあ……

は……

ふあ……は

はあっ

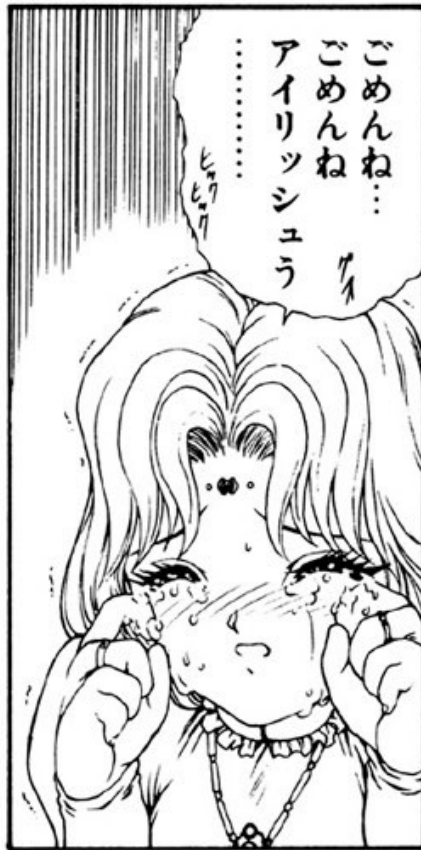
はあ

っ!!!





泣かないで下さい  
姫…… 私は  
大丈夫ですから



ごめんね……  
ごめんね  
アイリツシユ  
……



間抜けな  
連中ですね  
……



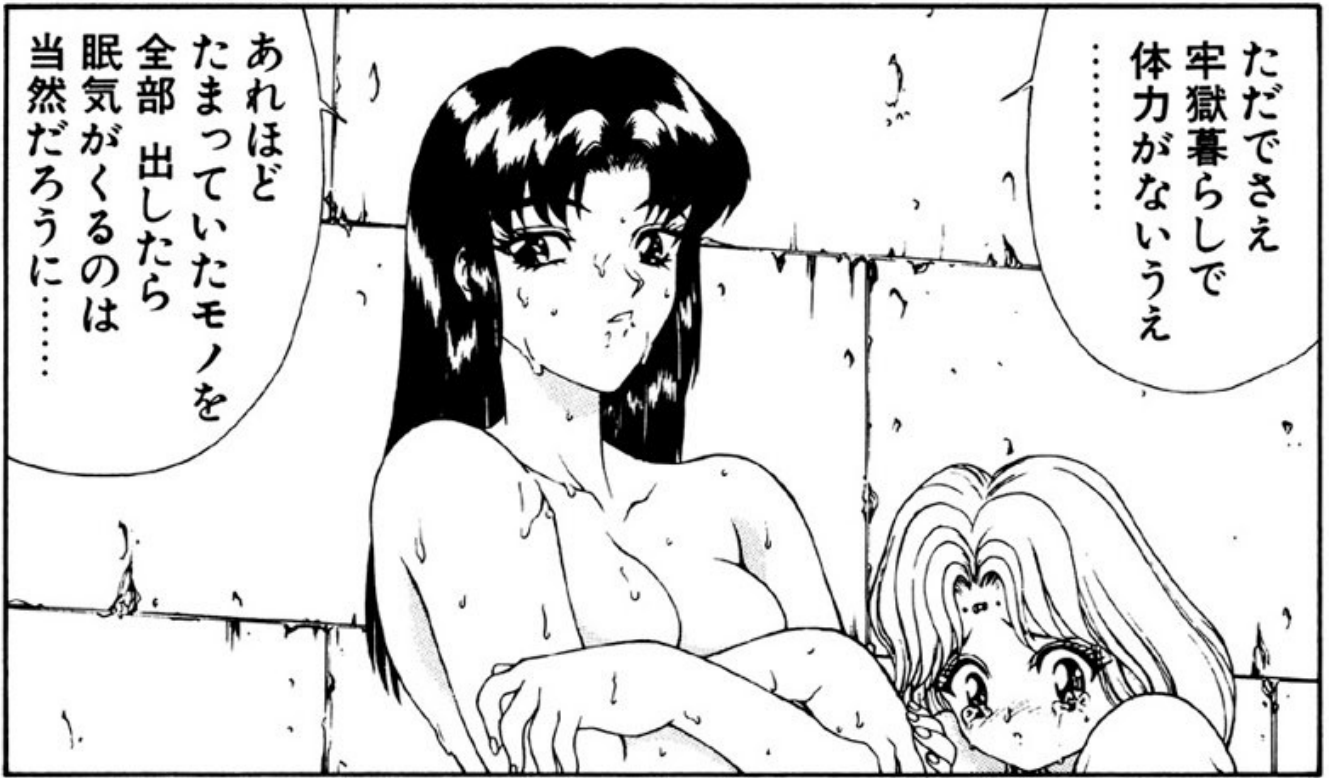
……  
……  
それにしても



アイリツシユ  
アイリツシユ

大丈夫!?

# REMINISCENCE



ただでさえ  
牢獄暮らしで  
体力がないうえ  
………

あれほど  
たまっていたモノを  
全部 出したら  
眠気がくるのは  
当然だろうに……



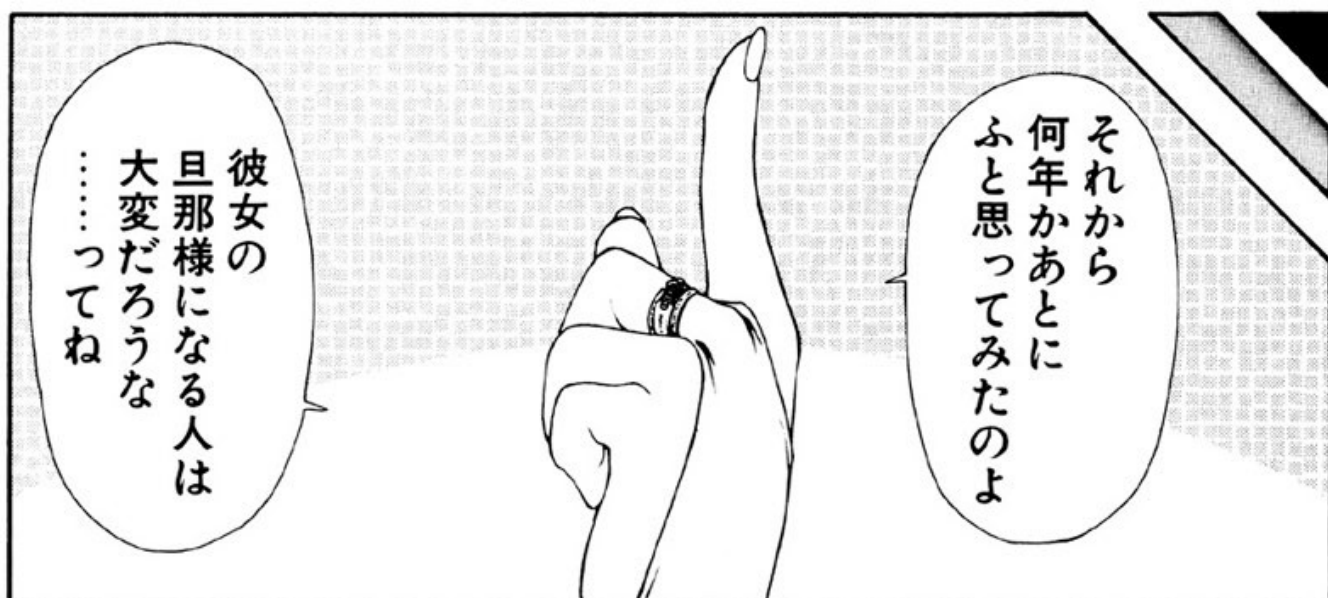
思えばあの時の  
彼女の態度が



はは……  
もちろんですよ  
姫  
かえって  
ひさしぶりに  
満足させてもらった  
くらいです



ね……ねえ  
アイリツシュ……  
本当に  
大丈夫なの？  
まなこイキマカ



それから  
何年かあとに  
ふと思ってみたのよ

彼女の  
旦那様になる人は  
大変だろうな  
……ってね



………で  
実際のところ  
どうだったの？  
ハルバドス

はあ………

若いころは  
大変でした……  
ひどい時には  
一晩で十回以上も  
………

後々の私に  
多大な影響を及ぼしたのは  
言うまでもないことでしょう

# あとがき

初めまして 向 正義です  
まずはこの本を読んでいただき 本当にありがとうございました。

僕にとって初めての単行本なのでやはりうれしさもひとしおです  
つたない部分も多々ありますがそこはどうか笑って許してやって下さい  
これからもがんばって精進していきたいと思いますので今後とも  
どうかおつき合いよろしくお願いします。

最後にもう1度 読者の方々とお世話になった人達へ

” 本当にありがとうございました ”

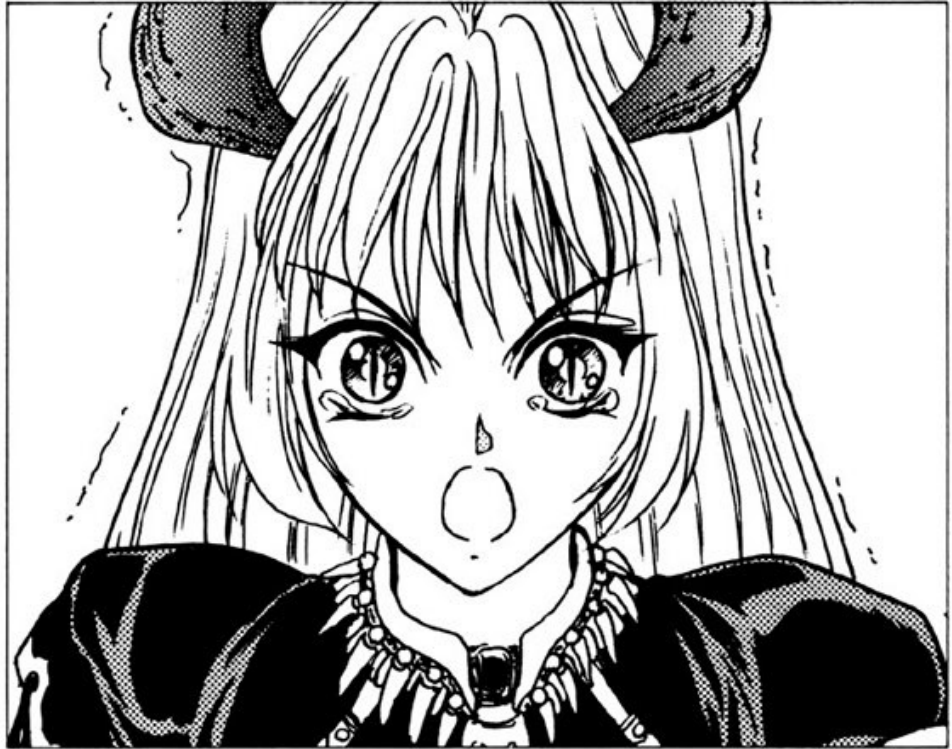
向 正義

MUKAI

MASAYOSHI

1996 , OCTOBER





# フィジカル メッセージ

---

著 者 向 正 義

発行所 株式会社フランス書院  
東京都千代田区飯田橋3-3-1

電 話 03-5226-5744(営業)  
03-5226-5741(編集)

振 替 00160-5-93873

<http://www.france.jp>

---

©Masayoshi Mukai Printed in Japan.

定価・発行日はカバーに表示してあります。  
落丁・乱丁は当社にてお取替えいたします。